

<地域別>

- ・ 地域計では、村山地域が5.8人と最も少なく、次いで庄内地域が7.6人、最上地域が8.0人、置賜地域が8.3人であった。
- ・ 内科：村山地域が10.3人、最上地域が10.6人に対し、庄内地域が16.1人、置賜地域が17.8人と各2地域がそれぞれ同水準の患者数となっている。
- ・ 神経内科（神経科）：置賜地域が14.3人、庄内地域が13.2人、村山地域が8.4人に対し、最上地域が0.0人となっている。
- ・ 小児科：最上地域が4.2人、庄内地域が4.5人、村山地域が7.0人に対し、置賜地域が15.4人で最上地域及び庄内地域の3倍以上となっている。
- ・ 外科：最上地域が6.6人、村山地域及び置賜地域がともに6.9人に対し、庄内地域が8.0人と他3地域に比べ多いが、際立った差異は見られなかった。
- ・ 整形外科：最上地域が12.9人、村山地域が11.4人、庄内地域が10.2人、置賜地域が9.5人と際立った差異は見られなかった。
- ・ 脳神経外科：村山地域が9.4人に対し、最上地域が18.8人、置賜地域が16.0人、庄内地域が16.7人で村山地域は他3地域の約半分となっている。
- ・ 皮膚科：最上地域が2.6人、村山地域及び置賜地域が2.1人に対し、庄内地域が3.6人と他3地域に比べやや多い。
- ・ 泌尿器科：村山地域が5.5人、庄内地域が5.9人に対し、最上地域が8.2人、置賜地域が8.6人とやや多くなっている。
- ・ 産婦人科：庄内地域が8.7人、村山地域が8.3人、置賜地域が7.9人に対し、最上地域が12.0人と比較的多くなっている。
- ・ 眼科：最上地域が1.3人と最も少なく、村山地域及び庄内地域がともに2.6人、置賜地域が2.1人で、最上地域以外の3地域ではほとんど差がなかった。
- ・ 耳鼻咽喉科：村山地域が4.4人、置賜地域が4.6人、最上地域が4.9人に対し、庄内地域が6.4人と若干多くなっている。

表4- (1) -2 医師一人当たり一日平均入院患者数（地域別・診療科別）

（単位：人）

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
内科	10.3	10.6	17.8	16.1	12.3
精神科	3.9		15.6	2.9	7.7
神経内科(神経科)	8.4	0.0	14.3	13.2	9.5
呼吸器科	8.0		7.8	15.0	8.9
消化器科・胃腸科	5.9		4.2	9.3	6.4
アレルギー科	0.0		0.0	0.0	0.0
小児科	7.0	4.2	15.4	4.5	7.8
外科	6.9	6.6	6.9	8.0	7.2
整形外科	11.4	12.9	9.5	10.2	11.0
形成外科	3.4		2.1	3.9	3.5

脳神経外科	9.4	18.8	16.0	16.7	12.0
呼吸器外科	6.2			1.8	3.2
心臓血管外科	4.6		6.9	0.6	3.8
小児外科	0.0			2.5	1.3
皮膚科	2.1	2.6	2.1	3.6	2.3
泌尿器科	5.5	8.2	8.6	5.9	6.2
産婦人科	8.3	12.0	7.9	8.7	8.4
産科				7.8	7.8
婦人科	0.0			0.0	1.3
眼科	2.6	1.3	2.1	2.6	2.5
耳鼻咽喉科	4.4	4.9	4.6	6.4	4.8
リハビリテーション科	25.2			0.0	21.0
放射線科	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1
麻酔科	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
病理	0.0		0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科	1.1		0.8	1.0	1.0
歯科	0.2			0.6	0.3
合計	5.8	8.0	8.3	7.6	6.7

#### <病院種別>

- ・ 内科：「国立」が4.8人と最も少なく、「自治体」が10.0人、「公立・公的」が15.9人、「私的」が28.0人となっている。
- ・ 小児科：「私的」が1.2人と最も少なく、次いで「公立・公的」が4.6人、「自治体」が5.0人に対し、国立が18.9人と他病院種別の4倍弱から約15倍の入院患者数となっている。
- ・ 外科：「国立」が4.1人と最も少なく、「自治体」が6.4人、「公立・公的」が8.5人、「私的」が9.8人であった。
- ・ 脳神経外科：「国立」が3.3人と極めて少なく、「自治体」が11.4人、「公立・公的」が19.7人、「私的」が22.1人と国立以外はほぼ同水準であった。
- ・ 泌尿器科：「国立」が2.5人と最も少なく、次いで「公立・公的」が7.1人、「自治体」が7.2人、「私的」が7.6人で「国立」以外はほとんど差がなかった。
- ・ 産婦人科：「国立」が4.7人に対し、「公立・公的」が8.7人、「自治体」が9.2人、「私的」が9.9人で「国立」以外はほとんど差がなかった。
- ・ 眼科：「公立・公的」が1.6人と最も少なく、次いで「国立」が2.5人、「自治体」が2.8人、「私的」が2.7人であった。
- ・ 耳鼻咽喉科：「私的」が2.8人と最も少なく、次いで「国立」が3.0人、「公立・公的」が4.2人、「自治体」が6.2人であった。

表4-(1)-3 医師一人当たり一日平均入院患者数（病院種別・診療科別）

（単位：人）

	国立	公立・公的	自治体	私的	全体
内科	4.8	15.9	10.0	28.0	12.3
精神科	6.1	14.3	6.2		7.7
神経内科(神経科)	14.1	11.0	7.0	0.0	9.5
呼吸器科	17.4	0.0	16.0	3.9	8.9
消化器科・胃腸科	0.0	1.0	10.4	7.2	6.4
循環器科		0.0	5.5	6.6	4.1
小児科	18.9	4.6	5.0	1.2	7.8
外科	4.1	8.5	6.4	9.8	7.2
整形外科	4.1	10.8	10.6	21.4	11.0
形成外科		2.8	3.5		3.5
脳神経外科	3.3	19.7	11.4	22.1	12.0
呼吸器外科			3.2		3.2
心臓血管外科		6.2	2.5	3.0	3.8
小児外科			2.5	0.0	1.3
皮膚科	2.1	1.8	2.4	4.1	2.3
泌尿器科	2.5	7.1	7.2	7.6	6.2
産婦人科	4.7	8.7	9.2	9.9	8.4
産科			7.8		7.8
婦人科			2.6	0.0	1.3
眼科	2.5	1.6	2.8	2.7	2.5
耳鼻咽喉科	3.0	4.2	6.2	2.8	4.8
リハビリテーション科	22.6	12.1		28.5	21.0
放射線科	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1
麻酔科	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
病理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科	1.3	0.8	1.2	0.4	1.0
歯科	0.0	0.0	0.7	0.0	0.3
合計	5.3	7.7	7.0	13.2	7.5

#### 医療施設への入院患者集中化の状況

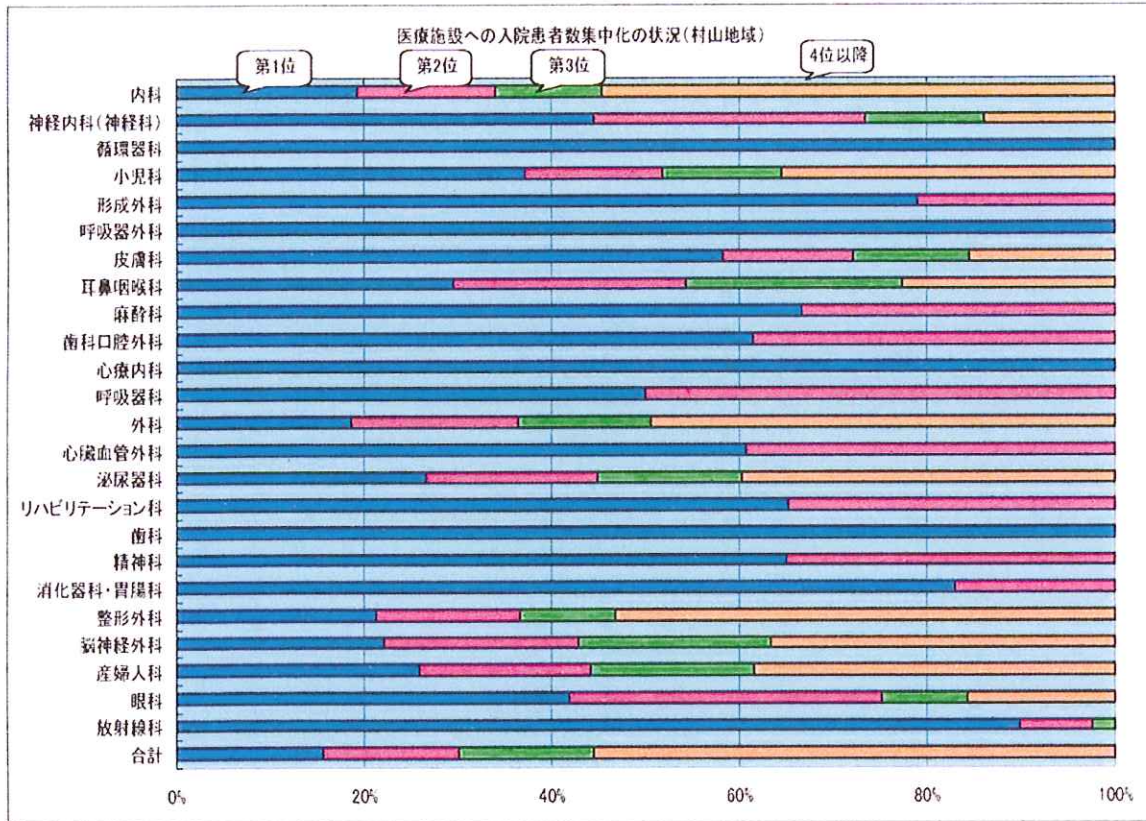
地域の診療科別入院患者数について、医療施設上位(3位まで)の占める比率を基に、医療圏における医療施設への集中化状況を比較した。

- ・ 村山地域：診療科合計では、上位1施設で全体の15.6%、上位2施設で30.2%と3割を占め、上位3施設では44.5%を占めている。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「循環器科」「呼吸器外科」「心療内科」「歯科」であった。

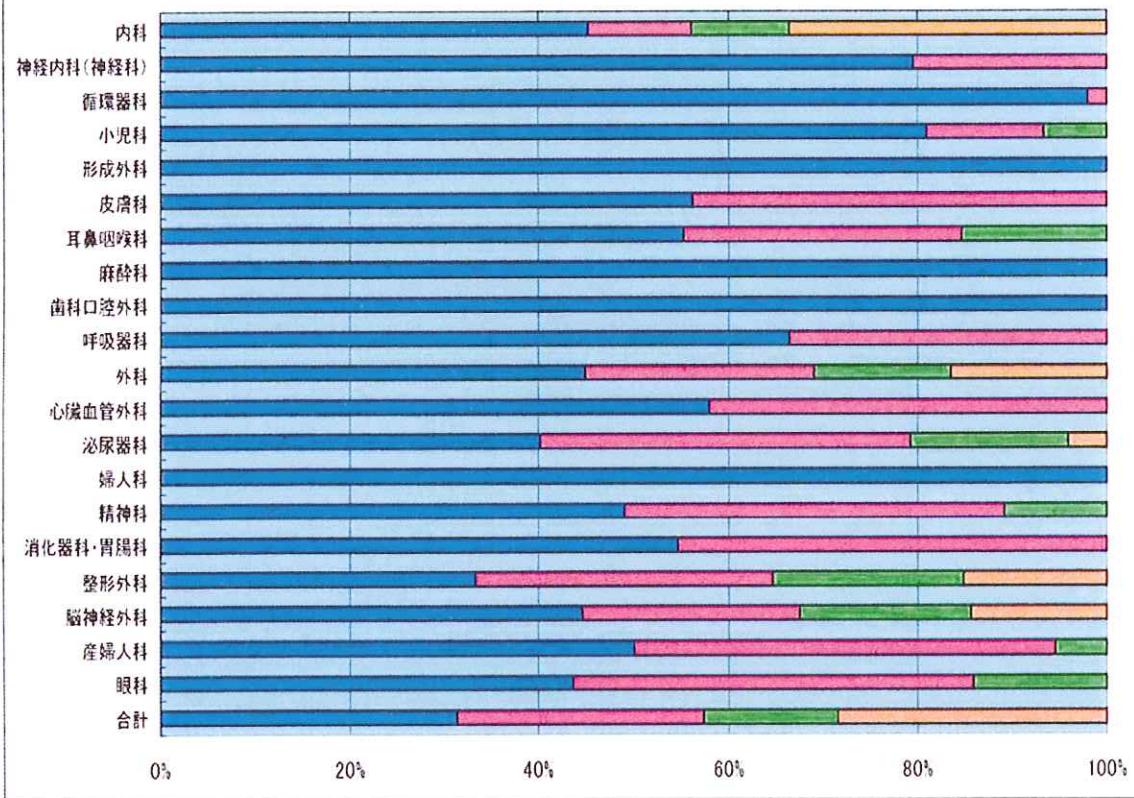
上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「形成外科」「歯科口腔外科」「心臓血管外科」などであった。上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「放射線科」であった。一方、上位3施設の比率が最も低い（各施設に分散されている）のは「内科」が45.3%、「整形外科」が46.8%、次いで「外科」が50.6%などであった。

- ・ **最上地域**：全体で4施設と母数が少ないこともあり、診療科合計では、上位1施設で地域全体の95.0%、上位2施設で99.0%、上位3施設で99.6%に達している。診療科別では、「内科」「外科」「整形外科」を除き、すべて1施設で地域全体をカバーしている。
- ・ **置賜地域**：合計では、上位1施設で全体の31.3%、上位2施設で57.5%、上位3施設で71.6%と7割以上に達している。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「形成外科」「歯科口腔外科」などであった。同じく上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「神経内科（神経科）」「循環器科」「皮膚科」「心臓血管外科」「消化器科・胃腸科」などであった。同じく上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「小児科」「耳鼻咽喉科」「精神科」「産婦人科」「眼科」などであった。一方、上位3施設の比率が最も低いのは「内科」が65.5%、「外科」が83.5%、「整形外科」が85.0%などであった。
- ・ **庄内地域**：合計では、上位1施設で全体の27.3%、上位2施設で50.9%、上位3施設で69.4%と約7割を占めている。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「心臓血管外科」「精神科」「小児外科」などであった。同じく上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「神経内科（神経科）」「循環器科」「形成外科」「歯科口腔外科」「消化器科・胃腸科」であった。上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「皮膚科」「耳鼻咽喉科」「産婦人科」「眼科」であった。一方、上位3施設の比率が最も低い（各施設に分散配置されている）のは「外科」で56.5%などであった。

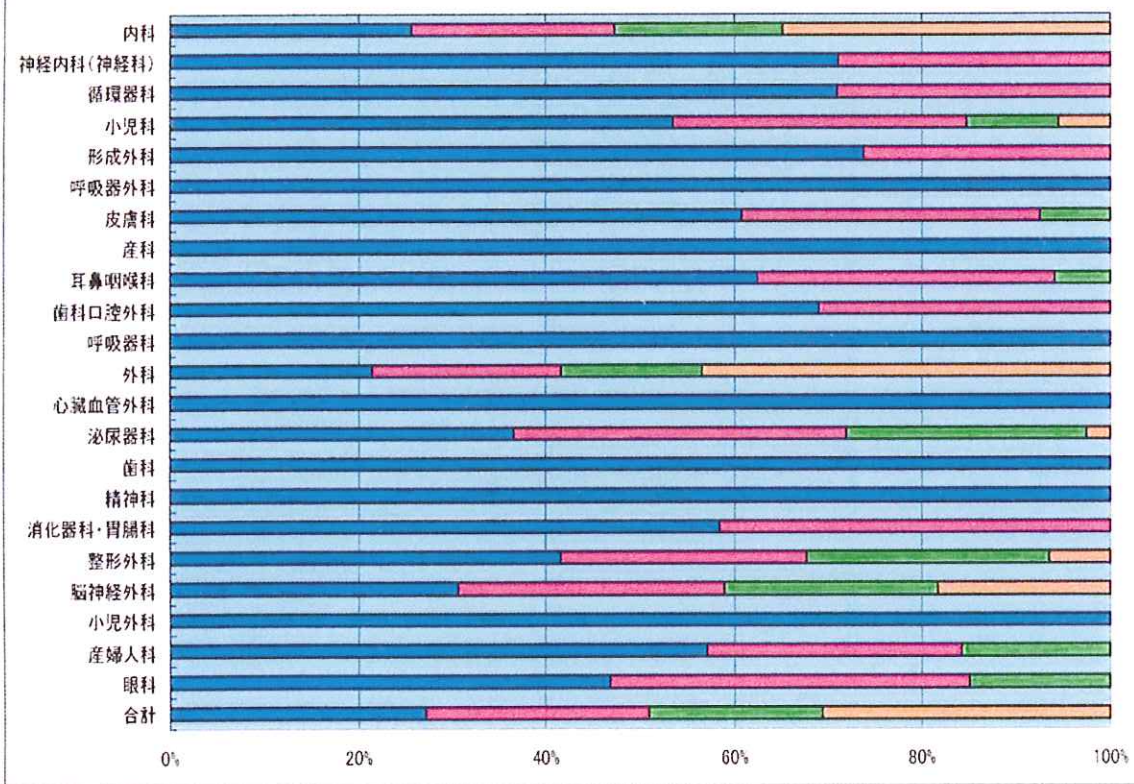
表 4- (1) -4 医療施設への入院患者集中化の状況 (地域別・診療科別)



医療施設への入院患者集中化の状況(圏域)



医療施設への入院患者集中化の状況(庄内地域)



医師一人当たり一日平均入院患者数の医療施設分布

診療科別医師数及び同一日平均入院患者数から、医師一人が一日に入院治療に関わる患者数の施設分布を比較した。

一日平均入院患者数「5人未満」が最も多い施設数割合の主な診療科は、「形成外科」が5施設（100.0%）、「眼科」が14施設（93.3%）、「小児科」が12施設（60.0%）、「精神科」が5施設（55.6%）などであった。「5～10人」が最も多い診療科は、「外科」が18施設（50.0%）、「内科」が14施設（35.0%）などであった。「10～15人」は、「神経内科（神経科）」が5施設（41.7%）などであった。「15～20人」は、「脳神経外科」が6施設（40.0%）であった。また、「整形外科」は「5～10人」及び「10～15人」がともに8施設（33.3%）、「産婦人科」は「5～10人」及び「10～15人」がともに6施設（31.6%）であった。さらに「20人以上」を取り扱う医療施設が、「内科」が9施設（22.5%）、「整形外科」が3施設（12.5%）あったことが特徴的である。

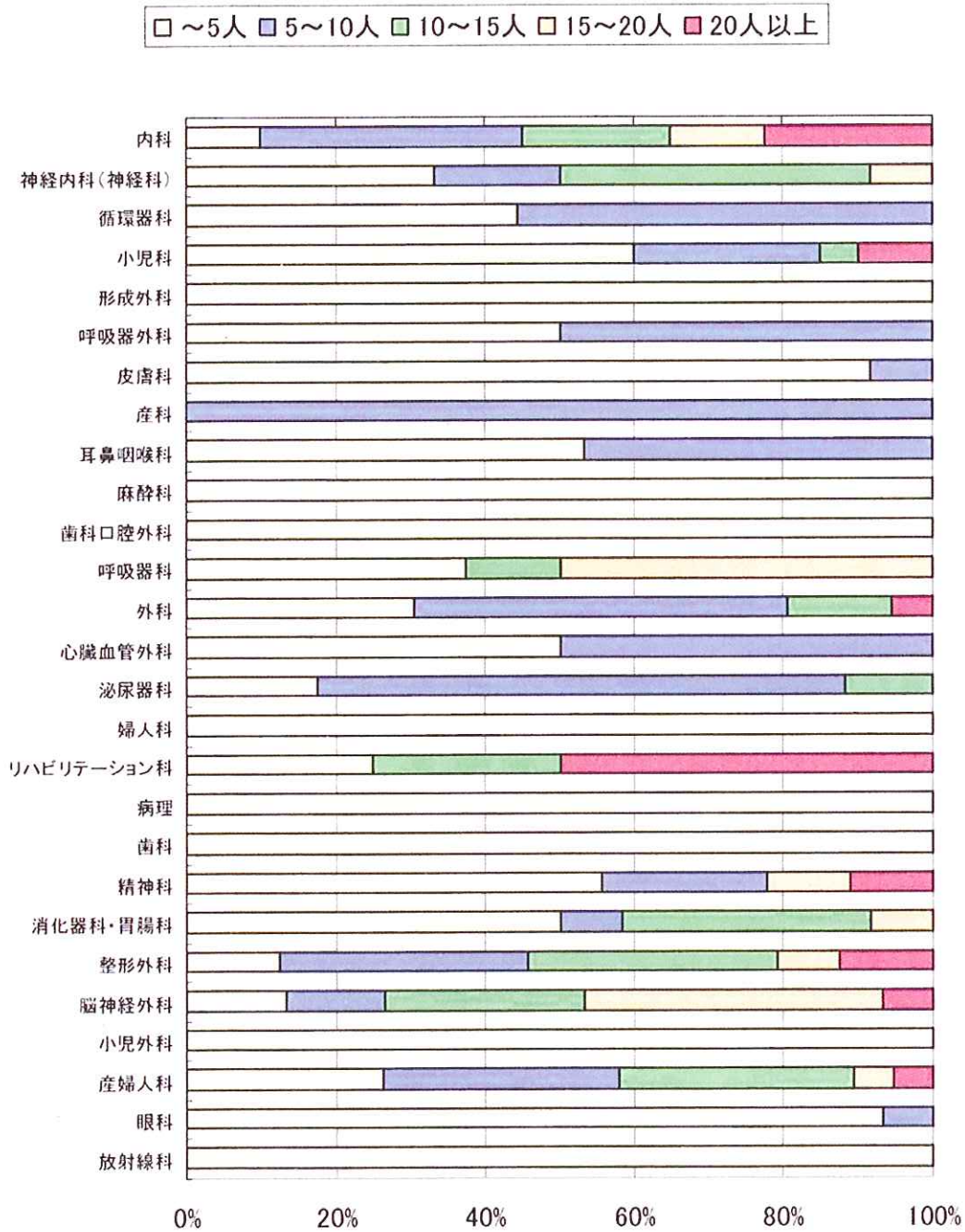
表4-（1）-5 医師一人当たり一日平均入院患者数の医療施設分布（診療科別）

	～5人		5～10人		10～15人		15～20人		20人以上		合計
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	
内科	4	10.0%	14	35.0%	8	20.0%	5	12.5%	9	22.5%	40
精神科	5	55.6%	2	22.2%			1	11.1%	1	11.1%	9
神経内科(神経科)	4	33.3%	2	16.7%	5	41.7%	1	8.3%			12
呼吸器科	3	37.5%			1	12.5%	4	50.0%			8
消化器科・胃腸科	6	50.0%	1	8.3%	4	33.3%	1	8.3%			12
循環器科	4	44.4%	5	55.6%							9
小児科	12	60.0%	5	25.0%	1	5.0%			2	10.0%	20
外科	11	30.6%	18	50.0%	5	13.9%			2	5.6%	36
整形外科	3	12.5%	8	33.3%	8	33.3%	2	8.3%	3	12.5%	24
形成外科	5	100.0%									5
脳神経外科	2	13.3%	2	13.3%	4	26.7%	6	40.0%	1	6.7%	15
呼吸器外科	1	50.0%	1	50.0%							2
心臓血管外科	3	50.0%	3	50.0%							6
小児外科	2	100.0%									2
皮膚科	11	91.7%	1	8.3%							12
泌尿器科	3	17.6%	12	70.6%	2	11.8%	0	0.0%	0	0.0%	17
産婦人科	5	26.3%	6	31.6%	6	31.6%	1	5.3%	1	5.3%	19
産科	0	0.0%	1	100.0%							1

婦人科	2	100.0%								2
眼科	14	93.3%	1	6.7%						15
耳鼻咽喉科	8	53.3%	7	46.7%						15
リハビリテーション科	1	25.0%			1	25.0%		2	50.0%	4
放射線科	15	100.0%								15
麻酔科	16	100.0%								16
病理	9	100.0%								9
歯科口腔外科	7	100.0%								7
歯科	5	100.0%								5



医師一人当たり一日平均入院患者数の医療施設分布



(2) 地域別入院患者延べ数

全体

地域ごとに見ると、全入院患者のうち村山地域が46.2%と半分近くを占めている。次いで置賜地域が21.5%、庄内地域が18.7%、最上地域が10.1%、県外が2.5%などとなっている。

### 地域別割合

- ・ 村山地域：地域全体の入院患者のうち、自医療圏の患者が91.7%を占めており、置賜地域が2.9%、最上地域が1.7%、庄内地域が0.8%となっている。
- ・ 最上地域：地域全体の入院患者のうち、自医療圏の患者が92.2%を占めており、村山地域が2.5%、庄内地域が0.2%、置賜地域が0.0%となっている。
- ・ 置賜地域：地域全体の入院患者のうち、自医療圏の患者が89.5%を占めているが、自診療圏の患者割合が最も低い。村山地域が3.1%、庄内地域が1.4%、最上地域が0.7%となっている。
- ・ 庄内地域：地域全体の入院患者のうち、自医療圏の患者が97.2%を占めており、4地域の中で自診療圏の患者割合が最も高い。最上地域が0.5%、村山地域が0.3%、置賜地域が0.1%となっている。

表4- (2) 出身地域別入院患者延数

(単位:人)

患者出身 地域 医療 施設	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		県外		その他 住所不明		合計
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数
村山地域	734,667	91.7%	13,359	1.7%	22,861	2.9%	6,117	0.8%	17,654	2.2%	6,322	0.8%	800,980
最上地域	3,935	2.5%	147,087	92.2%	31	0.0%	290	0.2%	1,177	0.7%	7,014	4.4%	159,534
置賜地域	11,148	3.1%	2,469	0.7%	325,523	89.5%	5,077	1.4%	17,900	4.9%	1,750	0.5%	363,867
庄内地域	853	0.3%	1,369	0.5%	167	0.1%	291,696	97.2%	4,172	1.4%	1,750	0.6%	300,007
合計	750,603		164,284		348,582		303,180		40,903		16,836		1,624,388

### (3) 診療科別一日平均外来患者数

#### 全体

「内科」が5,861.7人で最も多く、全体の外来患者数19,239.9人の30.5%を占めている。次いで、「整形外科」が2,463.3人(12.8%)、「外科」が1,678.1人(8.7%)、「産婦人科」が1,099.0人(5.7%)、「眼科」が1,046.5人(5.4%)、「小児科」が1,045.0人(5.4%)、「耳鼻咽喉科」が996.7人(5.2%)などであった。

#### 地域別の特徴

- ・ 村山地域：「内科」が2,868.3人で地域計9,022.1人の31.8%を占めている。次いで、「整形外科」が1,209.9人(13.4%)、「外科」が664.5人(7.4%)、「産婦人科」が641.8人(7.1%)などとなっている。同地域では、産婦人科患者の割合が他地域(2.5%~6.0%)に比べ高いのが特徴的である。
- ・ 最上地域：「内科」が693.9人(地域計1,702.0人の40.8%)と最も多く、次いで「整形外科」が246.1人(14.5%)、「耳鼻咽喉科」が178.7人(10.5%)、「外科」が138.2人(8.1%)、「泌尿器科」が90.9人(5.3%)などとなっている。同地域では、「耳鼻咽喉科」の外来患者数割合が10.5%と、他地域の2倍以上となっている。

ことが特徴的である。

- ・ 置賜地域：「内科」が1,227.9人（地域計4,359.6人の28.2%）と最も多く、次いで「整形外科」が589.2人（13.5%）、「外科」が288.3人（6.6%）、「小児科」が285.4人（6.5%）、「耳鼻咽喉科」が236.0人（5.4%）などとなっている。
- ・ 庄内地域：「内科」が1,071.6人（地域計4,156.3人の25.8%）と最も多く、次いで「外科」が587.1人（14.1%）、「整形外科」が418.1人（10.1%）、「産婦人科」が247.7人（6.0%）、「小児科」が238.1人（5.7%）などとなっている。同地域は、「外科」の外來患者数割合が14.1%と全体平均8.7%を大きく上回っていることが特徴的である。

表4- (3) -1 一日平均外來患者数（地域別・診療科別）

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	21	割合	4	割合	9	割合	10	割合	44	割合
内科	2,868.3	31.8%	693.9	40.8%	1,227.9	28.2%	1,071.6	25.8%	5,861.7	30.5%
心療内科	40.6	0.5%					0.2	0.0%	40.8	0.2%
精神科	152.0	1.7%			189.3	4.3%	119.4	2.9%	460.7	2.4%
神経内科(神経科)	172.8	1.9%	17.0	1.0%	66.6	1.5%	91.4	2.2%	347.8	1.8%
呼吸器科	53.8	0.6%			60.9	1.4%	42.9	1.0%	157.6	0.8%
消化器科・胃腸科	146.0	1.6%			117.0	2.7%	195.2	4.7%	458.2	2.4%
循環器科	88.9	1.0%			77.6	1.8%	91.1	2.2%	257.6	1.3%
アレルギー科										
リウマチ科										
小児科	441.7	4.9%	79.8	4.7%	285.4	6.5%	238.1	5.7%	1,045.0	5.4%
外科	664.5	7.4%	138.2	8.1%	288.3	6.6%	587.1	14.1%	1,678.1	8.7%
整形外科	1,209.9	13.4%	246.1	14.5%	589.2	13.5%	418.1	10.1%	2,463.3	12.8%
形成外科	60.8	0.7%			34.7	0.8%	57.4	1.4%	152.9	0.8%
気管食道科										
脳神経外科	296.2	3.3%	55.0	3.2%	218.9	5.0%	173.4	4.2%	743.5	3.9%
呼吸器外科	16.9	0.2%					12.1	0.3%	29.0	0.2%
心臓血管外科	39.0	0.4%			19.3	0.4%			58.3	0.3%
小児外科					19.2	0.4%	4.1	0.1%	23.3	0.1%
皮膚科	323.4	3.6%	69.5	4.1%	166.8	3.8%	163.1	3.9%	722.8	3.8%
泌尿器科	389.0	4.3%	90.9	5.3%	204.1	4.7%	191.8	4.6%	875.8	4.6%
産婦人科	641.8	7.1%	42.7	2.5%	166.8	3.8%	247.7	6.0%	1,099.0	5.7%
産科							49.6	1.2%	49.6	0.3%
婦人科	0.4	0.0%	1.7	0.1%	64.3	1.5%	0.6	0.0%	67.0	0.3%
眼科	512.1	5.7%	84.4	5.0%	248.9	5.7%	201.1	4.8%	1,046.5	5.4%
耳鼻咽喉科	417.7	4.6%	178.7	10.5%	236.0	5.4%	164.3	4.0%	996.7	5.2%
リハビリテーション科	86.3	1.0%							86.3	0.4%

放射線科	113.4	1.3%	4.0	0.2%	10.5	0.2%	16.6	0.4%	144.5	0.8%
病理										
麻酔科	25.0	0.3%			24.6	0.6%	1.6	0.0%	51.2	0.3%
こう門科										
歯科口腔外科	156.6	1.7%			43.0	1.0%	27.7	0.7%	227.3	1.2%
歯科	103.8	1.2%			0.3	0.0%	47.5	1.1%	151.6	0.8%
矯正歯科										
合計	9,022.1	100.0%	1,702.0	100.0%	4,359.6	100.0%	4,156.3	100.0%	19,239.9	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したものの。

### 医師（常勤）一人一日当たり外来患者数

#### <全体>

全体の医師一人一日当たり外来患者数は、17.8人であった。

患者数の多い診療科では、「皮膚科」が30.1人、「眼科」が29.1人、「耳鼻咽喉科」が28.5人、「内科」が26.6人、「整形外科」が25.9人などに対し、「小児科」が10.9人、「脳神経外科」が16.5人、「形成外科」が17.0人など相対的に少なかった。

地域では、村山地域が14.7人と最も少なく、次いで庄内地域が18.1人、置賜地域が24.2人、最上地域が28.4人であった。

#### <地域別>

- ・ 内科：村山地域が21.9人と最も少なく、次いで庄内地域が26.8人、最上地域が28.9人に対し、置賜地域が49.1人で村山地域の倍以上であった。
- ・ 神経内科（神経科）：村山地域が9.6人、置賜地域が16.7人、最上地域が17.0人に対し、庄内地域は30.5人で他地域の2倍から3倍となっている。
- ・ 小児科：村山地域が12.6人と最も少なく、庄内地域が19.8人、置賜地域が28.5人に対し、最上地域は39.9人で他地域の2倍から3倍となっている。
- ・ 外科：村山地域8.7人、置賜地域11.5人、庄内地域13.7人、最上地域13.8人となっている。
- ・ 整形外科：村山地域が22.8人、庄内地域が23.2人に対し、置賜地域が34.7人、最上地域が35.2人と前者2地域と後者2地域で一日当たり10人以上の差が見られる。
- ・ 脳神経外科：村山地域が10.2人に対し、庄内地域が24.8人、最上地域が27.5人、置賜地域が31.3人となっており、村山地域と他3地域との差が大きい。
- ・ 皮膚科：村山地域が20.2人に対し、最上地域が34.8人、庄内地域が54.4人、置賜地域が55.6人と村山地域と他3地域との差が大きい。
- ・ 泌尿器科：村山地域が15.0人に対し、庄内地域が24.0人、置賜地域が29.2人、最上地域が45.5人と地域ごとの格差がやや大きい。
- ・ 産婦人科：置賜地域が18.5人、村山地域が20.1人、庄内地域が24.8人に対し、最上地域が42.7人と他3地域の2倍以上または2倍程度となっている。
- ・ 眼科：村山地域が24.4人、次いで庄内地域が33.5人、置賜地域が35.6人、最上地域が42.2人となっている。

- 耳鼻咽喉科：村山地域が19.9人、次いで庄内地域が27.4人、置賜地域が39.3人、最上地域が89.4人となっており、最上地域は庄内地域及び置賜地域の2倍以上、村山地域の5倍弱の外来患者数となっている。

表4-（3）-2 医師一人当たり一日平均外来患者数（地域別・診療科別）

（単位：人）

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	診療科計
内科	21.9	28.9	49.1	26.8	26.6
精神科	10.9		21.0	29.9	17.1
神経内科（神経科）	9.6	17.0	16.7	30.5	13.4
呼吸器科	4.1		10.2	14.3	7.2
消化器科・胃腸科	9.7		7.8	13.9	10.4
循環器科	8.9		7.1	9.1	8.3
小児科	12.6	39.9	28.5	19.8	17.7
外科	8.7	13.8	11.5	13.7	10.9
整形外科	22.8	35.2	34.7	23.2	25.9
形成外科	15.2		34.7	14.4	17.0
脳神経外科	10.2	27.5	31.3	24.8	16.5
呼吸器外科	8.5			3.0	4.8
心臓血管外科	4.3		6.4	0.0	3.4
小児外科	0.0			4.1	11.7
皮膚科	20.2	34.8	55.6	54.4	30.1
泌尿器科	15.0	45.5	29.2	24.0	20.4
産婦人科	20.1	42.7	18.5	24.8	21.1
産科				16.5	16.5
婦人科	0.4			0.6	33.5
眼科	24.4	42.2	35.6	33.5	29.1
耳鼻咽喉科	19.9	89.4	39.3	27.4	28.5
リハビリテーション科	17.3			0.0	14.4
放射線科	5.2	2.0	2.6	4.2	4.5
麻酔科	0.9	0.0	4.1	0.2	1.1
病理	0.0		0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科	13.1		14.3	9.2	12.6
歯科	20.8			23.8	21.7
地域計	14.7	28.4	24.2	18.1	17.8

<病院種別>

- ・ 内科：「国立」が7.6人と他種別に比べ最も少なく、「自治体」26.9人、「私的」37.0人、「自治体」26.9人、「公立・公的」41.7人と大きな差が見られた。
- ・ 小児科：「国立」が4.3人で最も少なく、「自治体」が19.5人、「私的」が19.9人、「公立・公的」が29.5人と他3種別との格差が大きかった。
- ・ 外科：「国立」が3.2人に対し、「自治体」が10.8人、「公立・公的」が11.3人、「私的」が15.1人となっている。
- ・ 整形外科：「国立」が9.2人と最も少なく、次いで「自治体」が26.7人、「公立・公的」が27.3人、「私的」が39.0人であった。
- ・ 脳神経外科：「国立」が3.0人と最も少なく、「自治体」が15.8人、「公立・公的」が28.0人、「私的」が32.2人であった。
- ・ 泌尿器科：「国立」が3.4人と最も少なく、「私的」が20.3人、「自治体」が24.6人、「公立・公的」が27.5人であった。
- ・ 産婦人科：「国立」が7.8人に対し、「公立・公的」が20.3人、「私的」が25.3人、「自治体」が25.8人であった。
- ・ 眼科：「国立」が8.9人に対し、「私的」が27.2人、「公立・公的」が36.7人、「自治体」が37.0人であった。
- ・ 耳鼻咽喉科：「国立」が6.4人に対し、「公立・公的」が35.2人、「自治体」が35.3人、「私的」が46.4人であった。
- ・ 医師一人一日当たり平均外来患者数において、4病院種別のうち最も多い平均患者数（4病院種別すべてで患者数が計上された診療科）で「公立・公的」が1位となったのは「内科」「小児科」「皮膚科」「泌尿器科」、「私的」が1位となったのは「神経内科（神経科）」「外科」「整形外科」「脳神経外科」「耳鼻咽喉科」「歯科口腔外科」、「国立」はゼロ、その他の診療科では「自治体」が1位であった。

表4- (3) -3 医師一人当たり一日平均外来患者数（病院種別・診療科別）

（単位：人）

	国 立	公立・公的	自 治 体	私 的	診療科計
内科	7.6	41.7	26.9	37.0	26.6
精神科	9.3	15.5	21.3		17.1
神経内科（神経科）	4.1	14.1	17.1	36.5	13.4
呼吸器科	4.9	0.0	14.1	7.4	7.2
消化器科・胃腸科	0.0	2.9	15.7	12.5	10.4
循環器科		0.0	10.9	14.0	8.3
小児科	4.3	29.5	19.5	19.9	17.7
外科	3.2	11.3	10.8	15.1	10.9
整形外科	9.2	27.3	26.7	39.0	25.9
形成外科		17.7	16.9		17.0
脳神経外科	3.0	28.0	15.8	32.2	16.5

呼吸器外科			4.8		4.8
心臓血管外科		4.2	3.3	0.0	3.4
小児外科			20.6	0.0	11.7
皮膚科	6.7	46.4	44.9	37.4	30.1
泌尿器科	3.4	27.5	24.6	20.3	20.4
産婦人科	7.8	20.3	25.8	25.3	21.1
産科			16.5		16.5
婦人科			25.2	5.8	33.5
眼科	8.9	36.7	37.0	27.2	29.1
耳鼻咽喉科	6.4	35.2	35.3	46.4	28.5
リハビリテーション科	5.2	34.4		3.6	14.4
放射線科	2.3	2.9	6.9	4.6	4.5
麻酔科	1.2	1.2	1.2	0.0	1.1
病理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科	8.0	14.3	8.5	28.4	12.6
歯科	12.6	31.5	35.8	0.0	21.7
病院種別計	5.8	20.9	19.5	23.4	17.8

#### 医療施設への外来患者集中化の状況

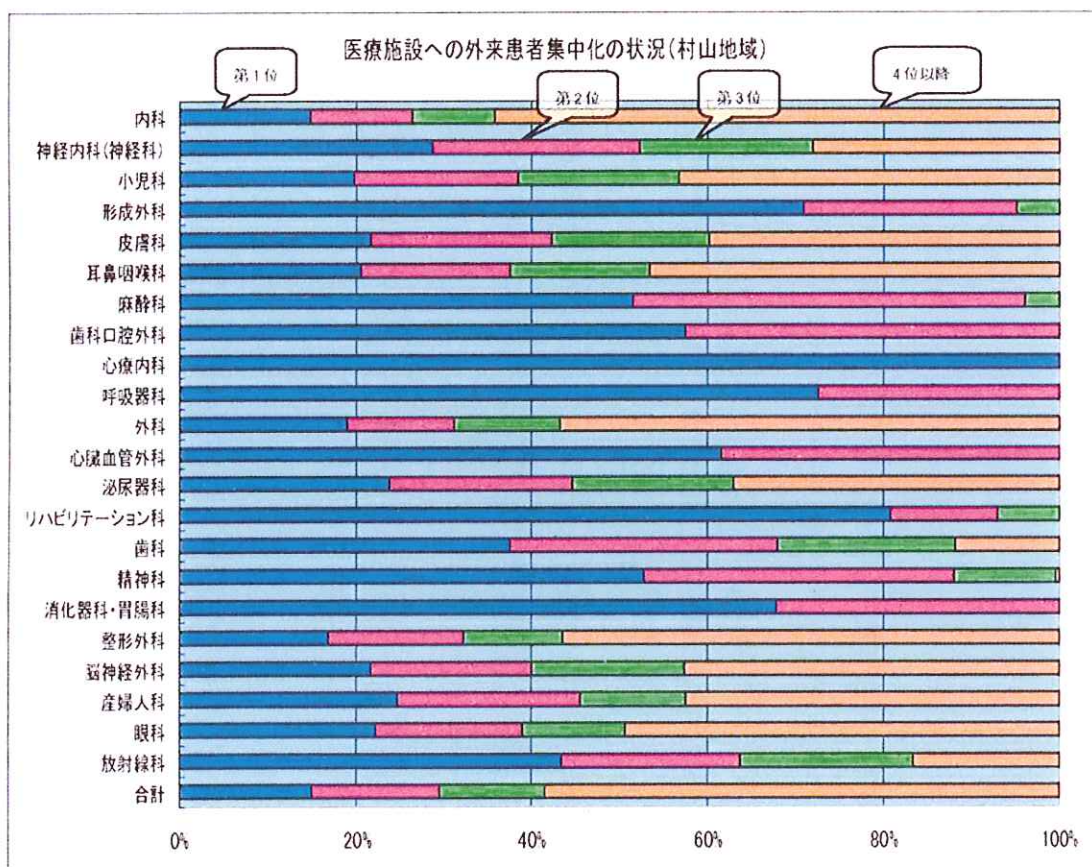
地域の診療科別外来患者数について、医療施設上位(3位まで)の占める比率を基に、医療圏における医療施設への集中化状況を比較した。

- ・ 村山地域：診療科合計では、上位1施設で全体の14.9%、上位2施設で29.5%と約3割を占め、上位3施設では41.5%を占めている。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「心療内科」のみであった。上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「歯科口腔外科」「心臓血管外科」「消化器科・胃腸科」などであった。上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「形成外科」「リハビリテーション科」であった。一方、上位3施設の比率が最も低い(各施設に分散されている)のは「内科」が35.8%、「外科」が43.3%、「整形外科」が43.4%などであった。
- ・ 最上地域：全体で4施設と母数が少ないこともあり、診療科合計では、上位1施設で地域全体の94.9%、上位2施設で98.6%、上位3施設で99.5%に達している。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしているのは、「神経内科(神経科)」「皮膚科」「泌尿器科」「脳神経外科」「産婦人科」「放射線科」であった。上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「小児科」「耳鼻咽喉科」「眼科」であった。上位3施設では「外科」が100%をはじめ、「内科」が99.4%、「整形外科」が99.6%とほぼ100%となっている。
- ・ 置賜地域：合計では、上位1施設で全体の29.6%、上位2施設で57.4%、上位3施設で70.7%と7割以上を占めている。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「形成外科」「歯科口腔外科」であった。上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「循環器科」「心臓血管外科」「消化器科・胃腸科」などであった。

上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「小児科」「皮膚科」「精神科」「産婦人科」であった。一方、上位3施設の比率が最も低いのは「外科」が57.0%、「内科」が59.3%、「整形外科」が69.9%などであった。

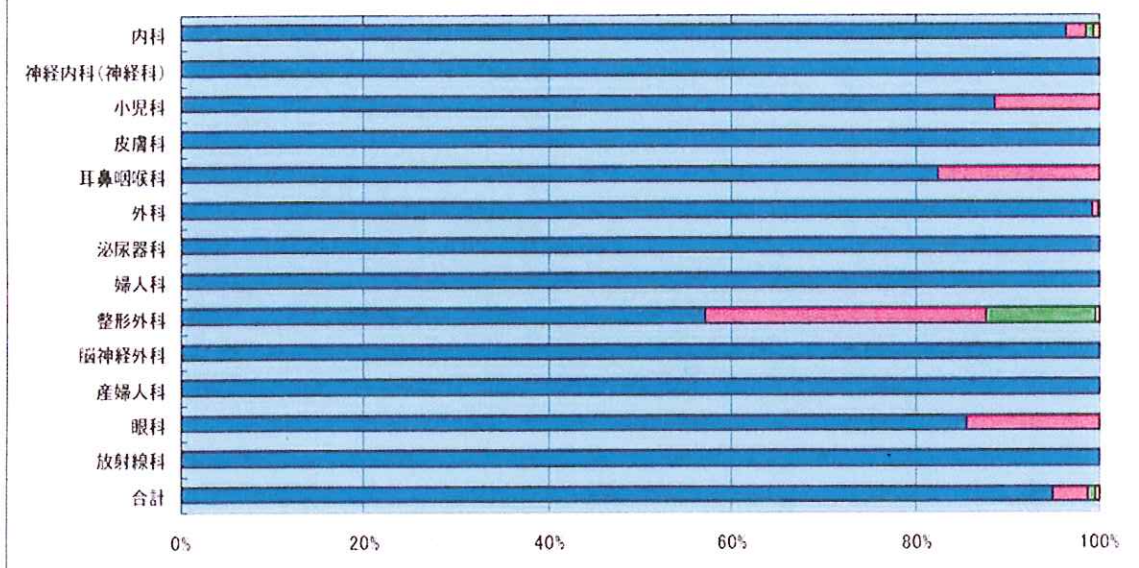
- ・ 庄内地域：合計では、上位1施設で全体の27.9%、上位2施設で54.6%、上位3施設で76.7%と約7割以上を占めている。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「呼吸器外科」「歯科」などであった。同じく上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「循環器科」「形成外科」「歯科口腔外科」であった。上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「神経内科（神経科）」「耳鼻咽喉科」「消化器科・胃腸科」「産婦人科」「眼科」「放射線科」であった。一方、上位3施設の比率が最も低いのは「外科」が56.5%、「内科」が67.3%、「脳神経外科」が81.7%であった。

表4- (3) -4 医療施設への外来患者集中化の状況（地域別・診療科別）

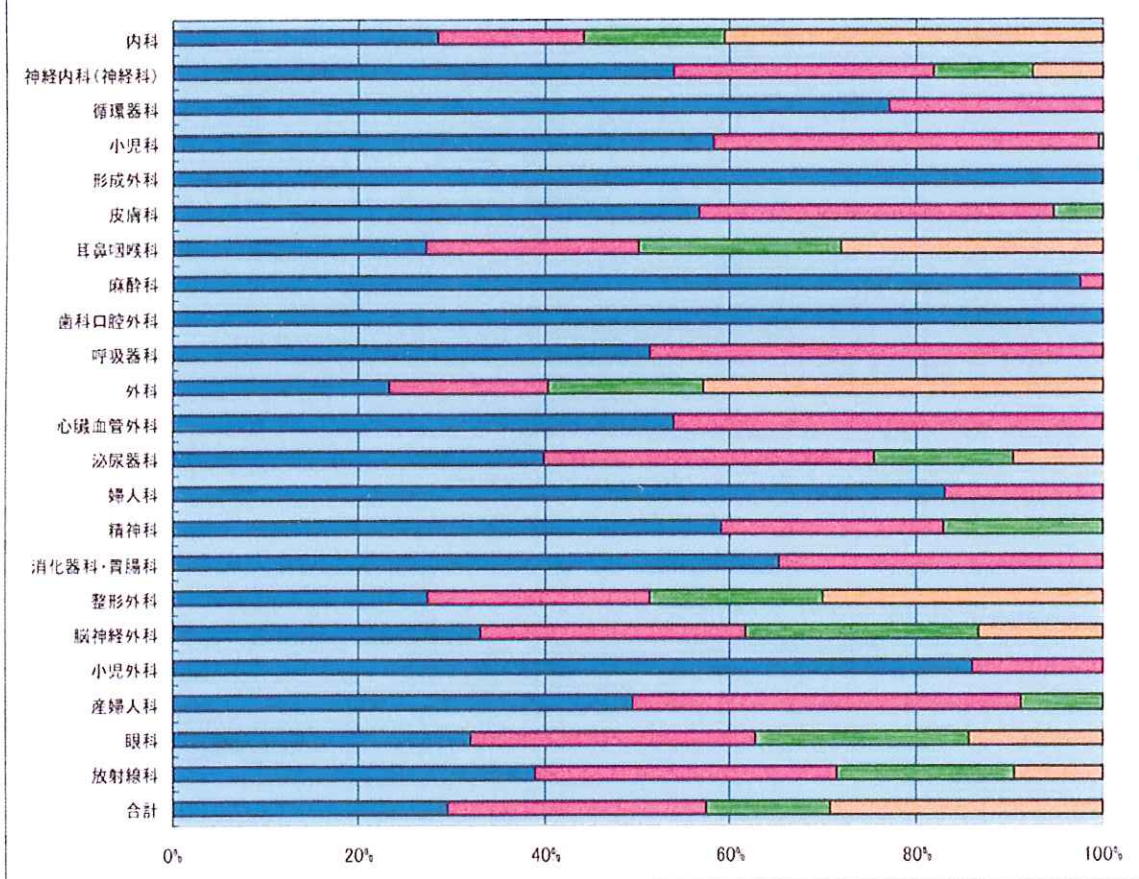


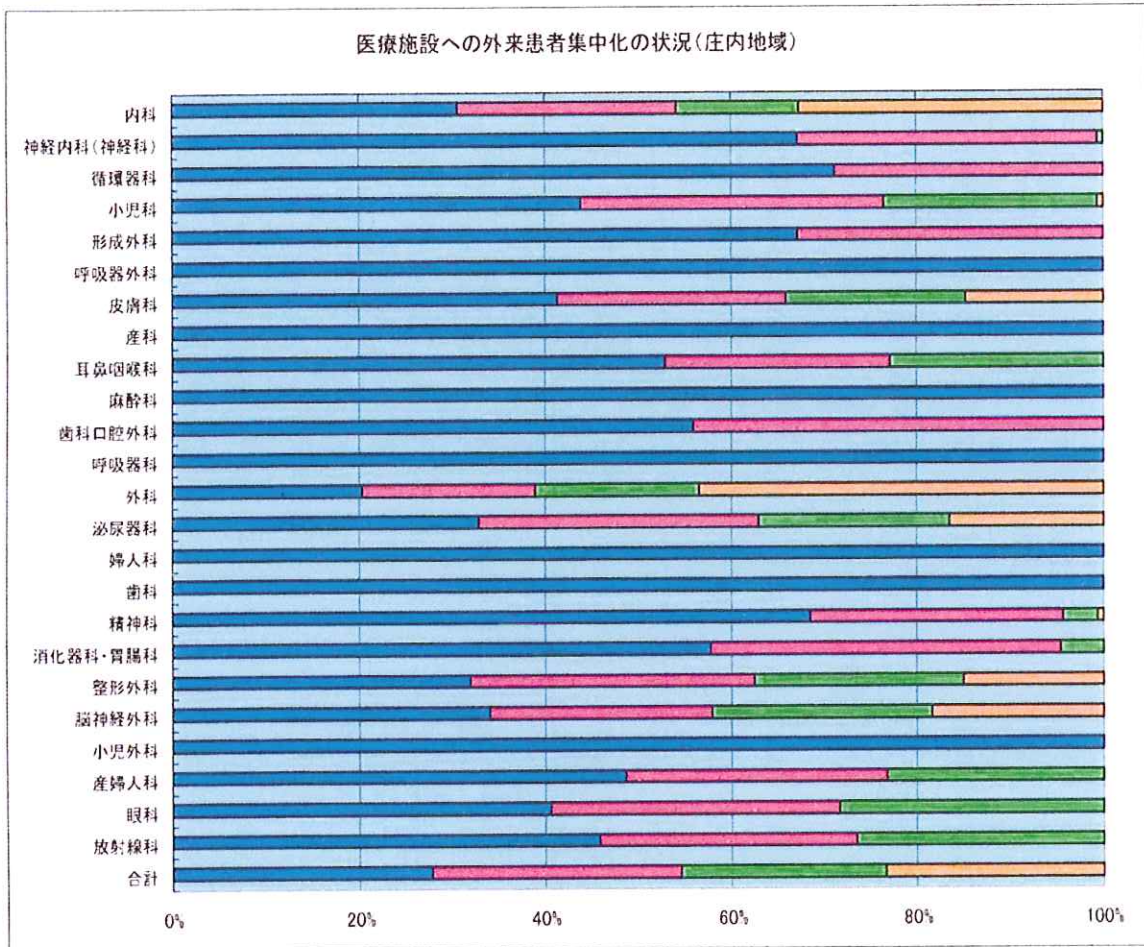


医療施設への外来患者数集中化の状況(最上地域)



医療施設への外来患者集中化の状況(置賜地域)





**医師一人当たり一日平均外来患者の医療施設分布**

診療科別医師数及び同一日平均外来患者数から、医師一人が一日に外来診療に関わる患者数の医療施設分布を比較した。

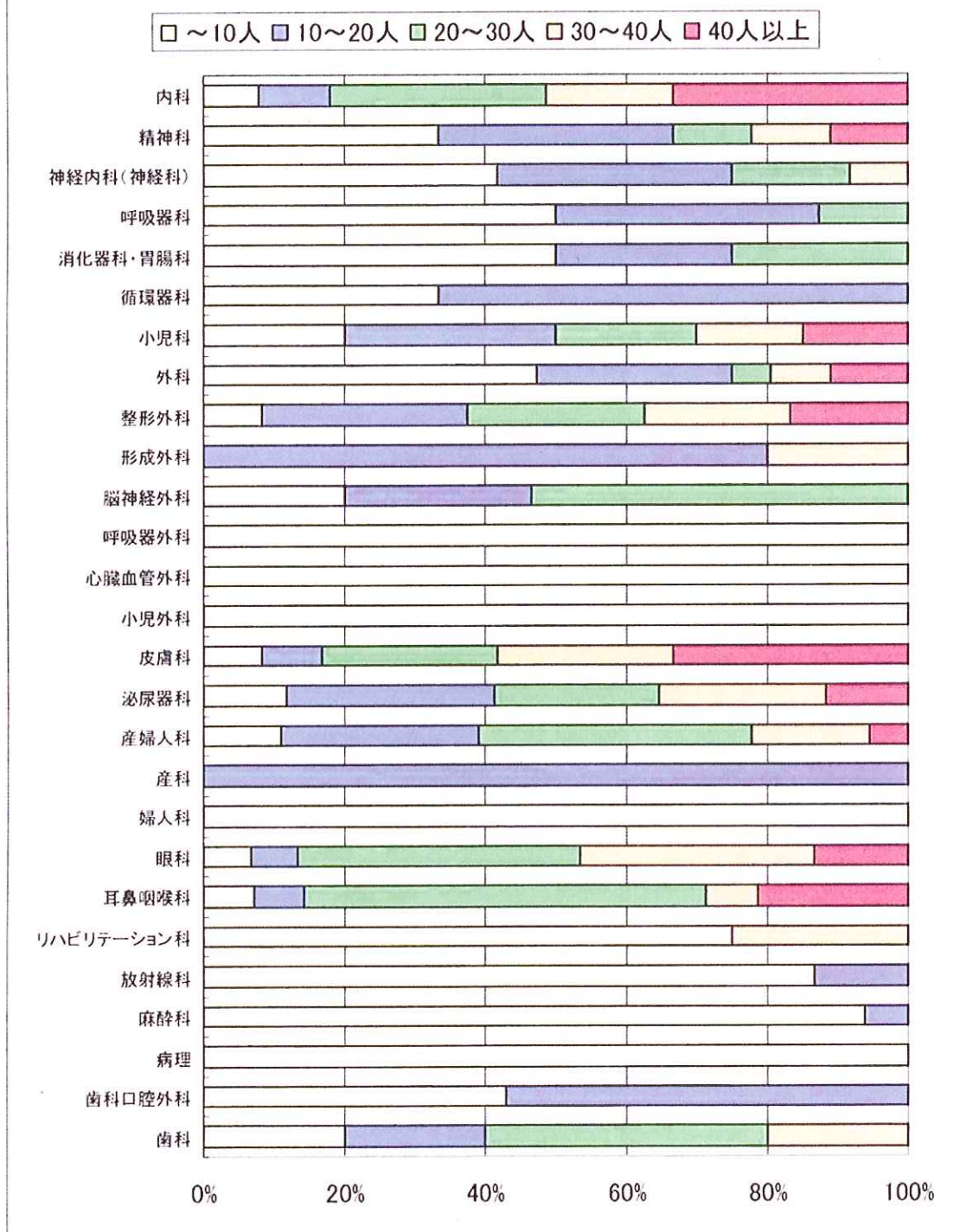
一日平均外来患者数「10人未満」が最も多い施設数割合の主な診療科は、「心臓血管外科」が6施設(100.0%)、「外科」が17施設(47.2%)、「神経内科(神経科)」が5施設(41.7%)などであった。「10~20人」は、「形成外科」が4施設(80.0%)、「小児科」が6施設(30.0%)、「泌尿器科」が5施設(29.4%)、「整形外科」が7施設(29.2%)などであった。「20~30人」は、「内科」が12施設(30.8%)、「脳神経外科」が8施設(53.3%)、「産婦人科」が7施設(38.9%)、「眼科」が6施設(40.0%)、「耳鼻咽喉科」が8施設(57.1%)などであった。「40人以上」は、「皮膚科」が4施設(33.3%)であった。

表4-(3)-5 医師一人当たり一日平均外来患者数の医療施設分布(診療科別)

	~10人		10~20人		20~30人		30~40人		40人以上		合計
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	
内科	3	7.7%	4	10.3%	12	30.8%	7	17.9%	13	33.3%	39

精神科	3	33.3%	3	33.3%	1	11.1%	1	11.1%	1	11.1%	9
神経内科(神経科)	5	41.7%	4	33.3%	2	16.7%	1	8.3%			12
呼吸器科	4	50.0%	3	37.5%	1	12.5%					8
消化器科-胃腸科	6	50.0%	3	25.0%	3	25.0%					12
循環器科	3	33.3%	6	66.7%							9
小児科	4	20.0%	6	30.0%	4	20.0%	3	15.0%	3	15.0%	20
外科	17	47.2%	10	27.8%	2	5.6%	3	8.3%	4	11.1%	36
整形外科	2	8.3%	7	29.2%	6	25.0%	5	20.8%	4	16.7%	24
形成外科			4	80.0%			1	20.0%			5
脳神経外科	3	20.0%	4	26.7%	8	53.3%					15
呼吸器外科	2	100.0%									2
心臓血管外科	6	100.0%									6
小児外科	2	100.0%									2
皮膚科	1	8.3%	1	8.3%	3	25.0%	3	25.0%	4	33.3%	12
泌尿器科	2	11.8%	5	29.4%	4	23.5%	4	23.5%	2	11.8%	17
産婦人科	2	11.1%	5	27.8%	7	38.9%	3	16.7%	1	5.6%	18
産科			1	100.0%							1
婦人科	2	100.0%									2
眼科	1	6.7%	1	6.7%	6	40.0%	5	33.3%	2	13.3%	15
耳鼻咽喉科	1	7.1%	1	7.1%	8	57.1%	1	7.1%	3	21.4%	14
リハビリテーション科	3	75.0%					1	25.0%			4
放射線科	13	86.7%	2	13.3%							15
麻酔科	15	93.8%	1	6.3%							16
病理	9	100.0%									9
歯科口腔外科	3	42.9%	4	57.1%							7
歯科	1	20.0%	1	20.0%	2	40.0%	1	20.0%			5

医師一人当たり一日平均外来患者数の医療施設分布



(4) 出身地域別外来患者延べ数

全体

地域ごとに見ると、全外来患者のうち村山地域が46.1%を占めている。次いで置賜地域が26.7%、庄内地域が16.1%、最上地域が9.3%、県外が1.3%などとなっている。

### 地域別割合

- ・ 村山地域：地域全体の外来患者のうち、自医療圏の患者が94.0%を占めており、置賜地域が2.6%、最上地域が0.9%、庄内地域が0.3%となっている。
- ・ 最上地域：地域全体の外来患者のうち、自医療圏の患者が96.8%を占めており、村山地域が2.5%、庄内地域が0.1%、置賜地域が0.0%となっている。
- ・ 置賜地域：地域全体の外来患者のうち、自医療圏の患者が98.8%を占めており、自医療圏内の患者割合が最も高く、入院の場合と逆の傾向を示している。村山地域、及び最上地域ともに0.0%、庄内地域は患者数ゼロであった。
- ・ 庄内地域：地域全体の外来患者のうち、自医療圏の患者が97.3%を占めており、最上地域が0.2%、村山地域が0.1%、置賜地域が0.0%となっている。

表4- (4) 出身地域別外来患者延数

(単位:人)

患者 出身 地域 医療 施設	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		県外		その他 住所不明		合計
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数
村山	1,748,421	94.0%	16,928	0.9%	49,117	2.6%	5,056	0.3%	25,512	1.4%	15,378	0.8%	1,860,412
最上	8,589	2.5%	338,276	96.8%	63	0.0%	322	0.1%	2,101	0.6%			349,351
置賜	687	0.1%	36	0.0%	967,460	98.8%			7,719	0.8%	3,578	0.4%	979,480
庄内	734	0.1%	1,150	0.2%	153	0.0%	606,881	97.3%	14,056	2.3%	585	0.1%	623,559
合計	1,758,431		356,390		1,016,793		612,259		49,388		19,541		3,812,802

### (5) 救急患者数

#### ① 診療科別救急患者数 (平成15年度実績)

#### 全体

県全体の救急患者数は211,819人で、そのうち「内科」が27.0%、次いで「小児科」が23.3%、「整形外科」が13.8%と上位を占めており、その他の診療科は7%未満となっている。

#### 地域別の特徴

- ・ 村山地域：地域全体の救急患者数84,254人のうち「内科」が20,747人で24.6%を占め、次いで「小児科」が21.8%、「整形外科」が13.3%、「脳神経外科」が6.7%などとなっている。
- ・ 最上地域：地域全体の救急患者数19,447人のうち「内科」が6,366人で32.7%を占め、次いで「小児科」が29.3%と二つの診療科で全体の6割以上(62.0%)に達している。さらに、「整形外科」が12.9%、「耳鼻咽喉科」が5.8%などとなっている。
- ・ 置賜地域：地域全体の救急患者数48,404人のうち「内科」が12,291人で25.4%を

占め、次いで「小児科」が23.8%と二つの診療科で全体の約半数(49.2%)に達している。さらに、「整形外科」が14.3%、「耳鼻咽喉科」が5.3%などとなっている。

・庄内地域：地域全体の救急患者数59,714人のうち「内科」が17,863人で30.0%を占め、次いで小児科が23.1%と二つの診療科で全体の半分以上(53.1%)に達している。さらに、「整形外科」が14.4%、「脳神経外科」が6.0%などとなっている。

表4-(5)-1 救急患者数(地域別・診療科別)

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	12	割合	2	割合	5	割合	8	割合	27	割合
内科	20,747	24.6%	6,366	32.7%	12,291	25.4%	17,893	30.0%	57,297	27.0%
神経内科(神経科)	1,786	2.1%	33	0.2%	208	0.4%	911	1.5%	2,938	1.4%
循環器科	584	0.7%			171	0.4%	141	0.2%	896	0.4%
小児科	18,372	21.8%	5,701	29.3%	11,517	23.8%	13,802	23.1%	49,392	23.3%
形成外科	1,657	2.0%			301	0.6%	1,316	2.2%	3,274	1.5%
呼吸器外科	103	0.1%					109	0.2%	212	0.1%
皮膚科	2,867	3.4%	991	5.1%	2,158	4.5%	1,516	2.5%	7,532	3.6%
産科							288	0.5%	288	0.1%
耳鼻咽喉科	3,958	4.7%	1,119	5.8%	2,558	5.3%	2,086	3.5%	9,721	4.6%
麻酔科	41	0.0%			57	0.1%	8	0.0%	106	0.1%
歯科口腔外科	389	0.5%			238	0.5%	84	0.1%	711	0.3%
心療内科	181	0.2%							181	0.1%
呼吸器科	879	1.0%			290	0.6%	105	0.2%	1,274	0.6%
アレルギー科										
外科	5,039	6.0%	886	4.6%	1,243	2.6%	3,002	5.0%	10,170	4.8%
器官食道科										
心臓血管外科	387	0.5%			416	0.9%			803	0.4%
泌尿器科	2,145	2.5%	428	2.2%	718	1.5%	1,403	2.3%	4,694	2.2%
婦人科			1	0.0%	53	0.1%			54	0.0%
リハビリテーション科					372	0.8%			372	0.2%
病理										
歯科	84	0.1%					200	0.3%	284	0.1%
精神科	782	0.9%			740	1.5%	658	1.1%	2,180	1.0%
消化器科・胃腸科	2,449	2.9%			798	1.6%	2,303	3.9%	5,550	2.6%
リウマチ科										
整形外科	11,228	13.3%	2,502	12.9%	6,935	14.3%	8,574	14.4%	29,239	13.8%
脳神経外科	5,678	6.7%	707	3.6%	3,865	8.0%	3,572	6.0%	13,822	6.5%
小児外科							109	0.2%	109	0.1%
産婦人科	3,243	3.8%	363	1.9%	1,336	2.8%	804	1.3%	5,746	2.7%
眼科	1,648	2.0%	347	1.8%	899	1.9%	828	1.4%	3,722	1.8%

放射線科	7	0.0%	3	0.0%	2	0.0%	2	0.0%	14	0.0%
こよう門科										
矯正歯科										
合計	84,254	100.0%	19,447	100.0%	48,404	100.0%	59,714	100.0%	211,819	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したもの。

### ② 地域別救急患者数割合

- ・ 村山地域：地域全体の救急患者のうち、自医療圏の救急患者が96.5%を占めており、置賜地域が0.8%、最上地域が0.4%、庄内地域が0.3%、県外が2.1%などとなっている。
- ・ 最上地域：地域全体の救急患者のうち、自医療圏の救急患者が93.9%を占めており、村山地域が3.1%、庄内地域が0.3%、置賜地域が0.1%、県外が1.9%などとなっている。
- ・ 置賜地域：地域全体の救急患者のうち、自医療圏の救急患者が96.4%を占めており、村山地域が0.9%、庄内地域が0.1%、最上地域が0.0%、県外が2.1%などとなっている。
- ・ 庄内地域：地域全体の外来患者のうち、自医療圏の救急患者が96.6%を占めており、村山地域が0.5%、最上地域が0.2%、置賜地域が0.1%、県外が1.9%などとなっている。

表4-(5)-2 出身地域別救急患者数

(単位:人)

患者出身 地域 医療 施設	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		県外		その他不明		合計	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
村山地域	56,689	96.5%	213	0.4%	469	0.8%	154	0.3%	1,211	2.1%			58,736	100.0%
最上地域	628	3.1%	19,305	93.9%	22	0.1%	68	0.3%	398	1.9%	145	0.7%	20,566	100.0%
置賜地域	309	0.9%	16	0.0%	33,713	96.4%	46	0.1%	724	2.1%	163	0.5%	34,971	100.0%
庄内地域	111	0.5%	58	0.2%	22	0.1%	22,898	96.6%	460	1.9%	147	0.6%	23,696	100.0%
合計	57,737		19,592		34,226		23,166		2,793		455		137,969	

### ③ 来院方法別救急患者数

全体で見ると、平成15年度の救急患者数は229,244人で、そのうち「救急車」による救急患者は28,884人(12.6%)、「自己来院」は200,360人(84.4%)であった。地域別では、村山地域は「救急車」が13.6%、「自己来院」が86.4%、最上地域では8.6%及び91.4%、置賜地域では11.1%及び88.9%、庄内地域では13.9%及び86.1%であった。

「救急車」及び「自己来院」の救急患者数区分ごとの施設数分布を比較した。「救急

車」では、「年間 500 人未満」が半数以上または半数近くを占め最も多かった。「自己来院」では、「年間 2,500 人未満」が置賜地域を除く 3 地域で半数以上を占め最も多かったが、置賜地域では「2,500 人～5,000 人」が 4 割を超え最も多かった。

表 4- (5) -3 救急患者数 (来院方法別)

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
回答施設数	15	4	7	9	35
救急車	12,176 (13.6%)	1,948 (8.6%)	6,049 (11.1%)	8,711 (13.9%)	28,884 (12.6%)
自己来院	77,326 (86.4%)	20,687 (91.4%)	48,397 (88.9%)	53,950 (86.1%)	200,360 (84.4%)
合計	89,502 (100.0%)	22,635 (100.0%)	54,446 (100.0%)	62,661 (100.0%)	229,244 (100.0%)
<b>&lt;救急車&gt;</b>					
	比率	比率	比率	比率	比率
500 人未満	8 53.3%	3 75.0%	4 57.1%	4 44.4%	19 54.3%
500 人以上 1,000 人未満	2 13.3%		1 14.3%	2 22.2%	5 14.3%
1,000 人以上 1,500 人未満	2 13.3%				2 5.7%
1,500 人以上 2,000 人未満	1 6.7%	1 25.0%	1 14.3%	1 11.1%	4 11.4%
2,000 人以上	2 13.3%		1 14.3%	2 22.2%	5 14.3%
<b>&lt;自己来院&gt;</b>					
	比率	比率	比率	比率	比率
2,500 人未満	8 53.3%	3 75.0%	2 28.6%	5 55.6%	18 51.4%
2,500 人以上 5,000 人未満	2 13.3%		3 42.9%	1 11.1%	6 17.1%
5,000 人以上 7,500 人未満	1 6.7%				1 2.9%
7,500 人以上 10,000 人未満	1 6.7%				1 2.9%
10,000 人以上 12,500 人未満					
12,500 人以上 15,000 人未満	1 6.7%		1 14.3%	1 11.1%	3 8.6%
15,000 人以上	2 13.3%	1 25.0%	1 14.3%	2 22.2%	6 17.1%
<b>&lt;合計&gt;</b>					
	比率	比率	比率	比率	比率
2,500 人未満	8 53.3%	3 75.0%	2 28.6%	5 55.6%	18 51.4%
2,500 人以上 5,000 人未満	1 6.7%		2 28.6%		3 8.6%
5,000 人以上 7,500 人未満	1 6.7%		1 14.3%	1 11.1%	3 8.6%
7,500 人以上 10,000 人未満	2 13.3%				2 5.7%
10,000 人以上 12,500 人未満					
12,500 人以上 15,000 人未満	1 6.7%			1 11.1%	2 5.7%
15,000 人以上 17,500 人未満		1 25.0%	1 14.3%	1 11.1%	3 8.6%
17,500 人以上 20,000 人未満	1 6.7%				1 2.9%



20,000人以上	1	6.7%		1	14.3%	1	11.1%	3	8.6%
-----------	---	------	--	---	-------	---	-------	---	------

(注)「比率」は各区分の施設数を全回答施設数にて除したものの。

※「③来院方法別救急患者数」及び「④一次・二次・三次別救急患者数」の内訳に記載のあった数値を集計しているため総救急患者数は一致しない。

④ 一次、二次、三次別救急患者数

全体では、一次が83.3%、二次が14.6%、三次が2.1%と圧倒的に一次患者が多かった。地域別に見ても、一次患者がすべての地域で80%を超えており、特に最上地域では89.6%と約9割が一次患者となっている。

一次・二次・三次別の救急患者数区分ごとの医療施設分布を見ると、「一次」では、「2,500人未満」がどの地域でも最も多かった。「二次」では、「500人未満」が、「三次」では「250人未満」がいずれも最も多かった。

表4-(5)-4 救急患者数（一次・二次・三次別）

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
回答施設数	9	2	6	6	23
一次救急患者	56,530 (81.1%)	2,753 (89.6%)	44,845 (87.6%)	34,523 (81.3%)	138,651 (83.3%)
二次救急患者	11,421 (16.4%)	279 (9.1%)	4,961 (9.7%)	7,669 (18.1%)	24,330 (14.6%)
三次救急患者	1,784 (2.5%)	41 (1.3%)	1,384 (2.7%)	257 (0.6%)	3,466 (2.1%)
合計	69,735 (100.0%)	3,073 (100.0%)	51,190 (100.0%)	42,449 (100.0%)	166,447 (100.0%)
<b>&lt;一次救急患者&gt;</b>					
	比率	比率	比率	比率	比率
2,500人未満	4 44.4%	2 100.0%	2 33.3%	3 50.0%	11 47.8%
2,500人以上 5,000人未満	1 11.1%		2 33.3%	1 16.7%	4 17.4%
5,000人以上 7,500人未満					
7,500人以上 10,000人未満	1 11.1%				1 4.3%
10,000人以上 12,500人未満	1 11.1%				1 4.3%
12,500人以上 15,000人未満			1 16.7%	1 16.7%	2 8.7%
15,000人以上	2 22.2%		1 16.7%	1 16.7%	4 17.4%
<b>&lt;二次救急患者&gt;</b>					
	比率	比率	比率	比率	比率
500人未満	5 55.6%	2 100.0%	3 50.0%	3 50.0%	13 56.5%
500人以上 1,000人未満			1 16.7%	1 16.7%	2 8.7%
1,000人以上 1,500人未満					
1,500人以上 2,000人未満	1 11.1%		1 16.7%	0 0.0%	2 8.7%

2,000人以上 2,500人未満	1	11.1%			1	16.7%	1	16.7%	3	13.0%
2,500人以上 3,000人未満										
3,000人以上	2	22.2%					1	16.7%	3	13.0%
<三次救急患者>										
		比率		比率		比率		比率		比率
250人未満	7	77.8%	2	100.0%	5	83.3%	6	100.0%	20	87.0%
250人以上 500人未満	1	11.1%							1	4.3%
500人以上 750人未満									0	0.0%
750人以上 1,000人未満									0	0.0%
1,000人以上	1	11.1%			1	16.7%			2	8.7%

(注)「比率」は各区分の施設数を全回答施設数にて除したものの。

※「③来院方法別救急患者数」と「④一次・二次・三次別救急患者数」の内訳に記載のあった数値を集計しているため総救急患者数が一致しない。

#### (6) 人間ドック受診者数

人間ドックを実施している施設は31施設(全回答施設の68.9%)で、受診者の総数は43,228人であった。

コース別に見ると、1日コースが24,173人(55.9%)、1泊2日コースが7,414人(17.2%)、2泊3日コースが3,268人(7.6%)、その他が8,373人(19.4%)であった。

地域別のコースごとの受診者数及び比率は次表のとおり。

表4-(6) 人間ドック受診者数(地域別)

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	13	割合	3	割合	6	割合	9	割合	31	割合
一日コース	8,773	38.8%	1,547	91.4%	5,675	77.5%	8,178	70.4%	24,173	55.9%
一泊二日コース	4,180	18.5%	73	4.3%	907	12.4%	2,254	19.4%	7,414	17.2%
二泊三日コース	3,205	14.2%			21	0.3%	42	0.4%	3,268	7.6%
その他	6,431	28.5%	73	4.3%	722	9.9%	1,147	9.9%	8,373	19.4%
合計	22,589	100.0%	1,693	100.0%	7,325	100.0%	11,621	100.0%	43,228	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したものの。

## 5 病床数等について

### (1) 病床種別病床数

回答のあった医療施設全体の病床数は9,982床で、うち一般病床が8,928床(89.4%)、精神病床が196床(2.0%)、感染病床が18床(0.2%)、療養病床が719床(7.2%)、結核病床が50床(0.5%)などであった。

今回の調査対象は、一般病床を有する医療施設としているため必然的に一般病床の割合が高くなっている。

表5- (1) 病床数 (地域別・病床区分別)

(平成17年1月1日現在)

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	21	割合	4	割合	9	割合	11	割合	45	割合
一般病床	4,455	88.1%	618	96.6%	1,619	91.0%	2,236	89.3%	8,928	89.4%
精神病床	40	0.8%			156	8.8%			196	2.0%
感染病床	8	0.2%	2	0.3%	4	0.2%	4	0.2%	18	0.2%
療養病床	445	8.8%	20	3.1%			254	10.1%	719	7.2%
結核病床	50	1.0%							50	0.5%
その他	61	1.2%					10	0.4%	71	0.7%
合計	5,059	100.0%	640	100.0%	1,779	100.0%	2,504	100.0%	9,982	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したもの。

## (2) 診療科別病床数

## 全体

県全体では、「内科」が2,148床(28.8%)と3割弱を占めている。次いで、「外科」が1,016床(13.6%)、「整形外科」が907床(12.2%)、「脳神経外科」が518床(6.9%)、「産婦人科」が502床(6.7%)などとなっている。

## 地域別

診療科別の病床数構成割合について地域ごとの特徴を見ると、「内科」は最上地域以外が20%~30%台に対し、最上地域では40.0%と内科の構成割合が際立って高くなっている。「小児科」は、置賜地域が10.6%と他地域の3倍以上または3倍程度となっている。「外科」は、庄内地域では23.6%とほぼ4分の1を占め、他地域の倍以上または倍近い構成割合となっている。

表5- (2) 病床数 (地域別・診療科別)

(平成17年1月1日現在)

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	16	割合	1	割合	5	割合	7	割合	29	割合
内科	1,296	31.0%	186	40.0%	302	20.8%	364	27.0%	2,148	28.8%
神経内科(神経科)	112	2.7%			59	4.1%	30	2.2%	201	2.7%
循環器科	52	1.2%			32	2.2%	10	0.7%	94	1.3%
小児科	159	3.8%	13	2.8%	154	10.6%	38	2.8%	364	4.9%
形成外科	18	0.4%			4	0.3%	10	0.7%	32	0.4%
呼吸器外科	13	0.3%							13	0.2%
皮膚科	39	0.9%	10	2.2%	10	0.7%	10	0.7%	69	0.9%
産科										

耳鼻咽喉科	102	2.4%	12	2.6%	37	2.5%	42	3.1%	193	2.6%
麻酔科	5	0.1%			1	0.1%	7	0.5%	13	0.2%
歯科口腔外科	17	0.4%			4	0.3%	5	0.4%	26	0.3%
心療内科	1	0.0%							1	0.0%
呼吸器科	49	1.2%			42	2.9%			91	1.2%
アレルギー科									0	0.0%
外科	500	11.9%	61	13.1%	137	9.4%	318	23.6%	1,016	13.6%
器官食道科										
心臓血管外科	50	1.2%	0	0.0%	28	1.9%	5	0.4%	83	1.1%
泌尿器科	163	3.9%	24	5.2%	58	4.0%	40	3.0%	285	3.8%
婦人科							5	0.4%	5	0.1%
リハビリテーション科	60	1.4%					5	0.4%	65	0.9%
病理										
歯科	2	0.0%					8	0.6%	10	0.1%
精神科	40	1.0%			156	10.7%	14	1.0%	210	2.8%
消化器科・胃腸科	85	2.0%			68	4.7%	93	6.9%	246	3.3%
リウマチ科										
整形外科	591	14.1%	65	14.0%	137	9.4%	114	8.4%	907	12.2%
脳神経外科	264	6.3%	44	9.5%	129	8.9%	81	6.0%	518	6.9%
小児外科										
産婦人科	314	7.5%	27	5.8%	59	4.1%	102	7.6%	502	6.7%
眼科	82	2.0%	6	1.3%	17	1.2%	12	0.9%	117	1.6%
放射線科	25	0.6%							25	0.3%
こう門科										
矯正歯科										
ICUその他	58	1.4%	17	3.7%	20	1.4%	37	2.7%	132	1.8%
合計	4,186	100.0%	465	100.0%	1,454	100.0%	1,350	100.0%	7,455	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したものの。

### (3) 病床利用率

#### (1) 一般病床

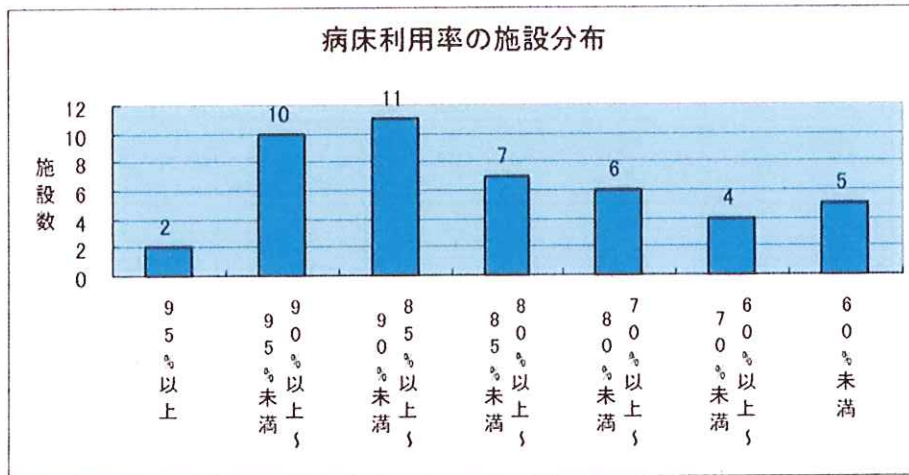
##### 病床利用率水準別の施設分布

医療施設のうち最も病床利用率が高かった施設は 96.5%、最も低かった施設は 14.0%であった。

利用率水準別の施設分布を見ると、回答のあった 45 施設のうち、一般病床の病床利用率「95%以上」が 2 施設 (4.4%)、「90%以上～95%未満」が 10 施設 (22.2%)、「85%以上～90%未満」が 11 施設 (24.4%)、「80%以上～85%未満」が 7 施設 (15.6%)、「70%以上～80%未満」が 6 施設 (13.3%)、「60%以上～70%未満」が 4 施設 (8.9%)、「60%未満」が 5 施設 (11.1%)であった。なお、85%以上の病床利用率の施設数は

23 施設で全体の 51.1%を占めている。

表 5- (3) -1 病床利用率の施設分布 (一般病床)



地域別病床利用率

各施設の「年延入院患者数」及び「年延病床数」の地域累計から一般病床の病床利用率を算定し地域別に比較した。その結果、全体の病床利用率は 85.2%で、地域別では置賜地域が 91.8%と唯一 90%を超え最も高く、次いで村山地域が 83.9%、庄内地域が 83.8%、最上地域が 82.7%と置賜地域を除く 3 地域ではほとんど差はなかった。

表 5- (3) -2 一般病床の地域別病床利用率比較

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
回答施設数	21	4	9	11	45
年延入院患者数	1,373,253	184,284	549,654	631,453	2,738,644
年延病床数	1,637,681	222,789	598,808	753,553	3,212,831
年延入院患者数/年延病床数	83.9%	82.7%	91.8%	83.8%	85.2%

② 一般病床以外

各施設の「年延入院患者数」及び「年延病床数」の地域累計から一般病床以外の病床利用率を算定し地域別に比較した。その結果、全体の病床利用率は 90.9%で、地域別では村山地域が 92.0%と唯一 90%を超え最も高く、次いで置賜地域が 89.5%、最上地域が 89.4%、庄内地域が 88.8%と村山地域を除く 3 地域ではほとんど差はなかった。

表 5- (3) -3 一般病床以外の地域別病床利用率比較

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
年延入院患者数	185,231	6,544	26,183	66,306	284,264
年延病床数	201,342	7,320	29,260	74,664	312,586

年延入院患者数／年延病床数	92.0%	89.4%	89.5%	88.8%	90.9%
---------------	-------	-------	-------	-------	-------

(4) 平均在院日数

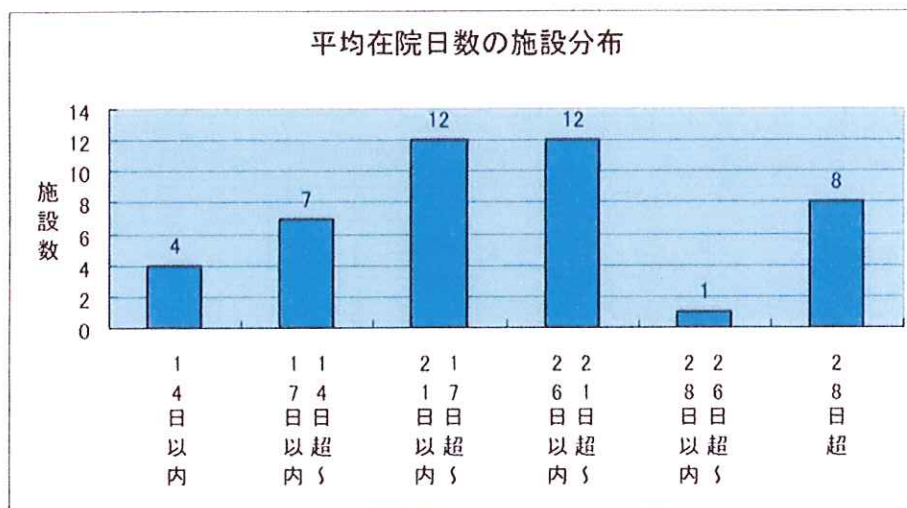
平均在院日数水準別施設分布

各医療施設の平均在院日数について、最も短かった施設は5.0日、最も長かった施設は564.0日であった。

平均在院日数水準別の施設分布を見ると、回答のあった44施設のうち、平均在院日数が「14日以内」(超急性期期間)が4施設(9.1%)、「14日超～17日以内」(急性期入院加算要件)が7施設(15.9%)、「17日超～21日以内」(入院基本料1要件)が12施設(27.3%)、「21日超～26日以内」(入院基本料2要件)が12施設(27.3%)、「26日超～28日以内」(入院基本料1群要件)が1施設(2.3%)、「28日超」が8施設(18.2%)であった。また、急性期入院加算取得の要件の一つである“平均在院日数17日以内(※)”をクリアしている施設は11施設(25.0%)であった。

※備考：急性期入院加算の施設基準では、「当該一般病棟の入院患者の平均在院日数が17日以内であること」が要件とされており、本調査における各医療施設の平均在院日数とは必ずしも一致しない。

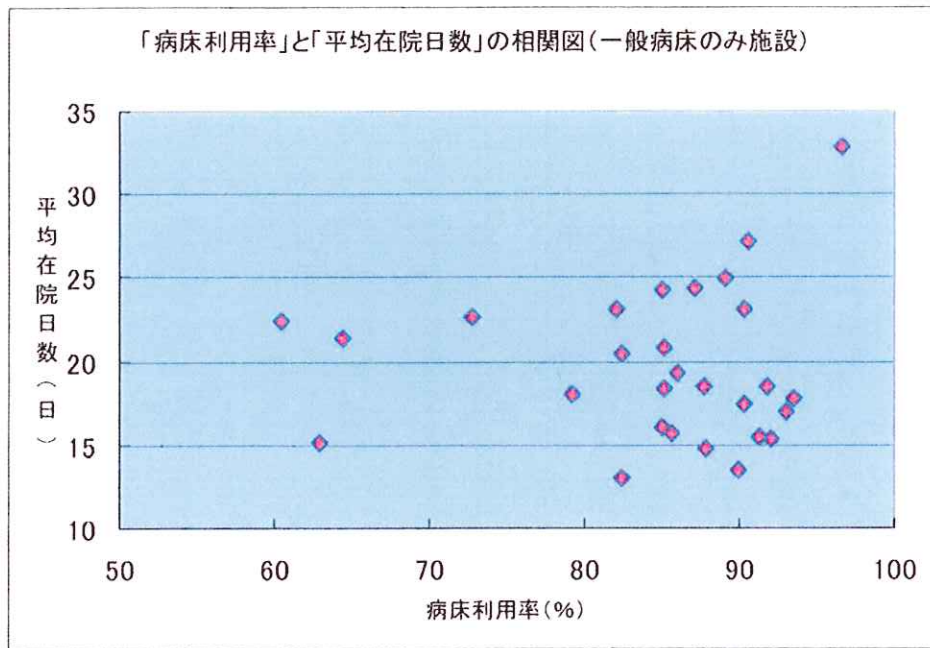
表5- (4)



(5) 「病床利用率」と「平均在院日数」について

一般病床及び療養病床を有するケアミックス型施設を除く「一般病床のみを有する施設」における「病床利用率」と「平均在院日数」との相関関係を見ると、平均在院日数20日以内の施設ではほとんどが病床利用率85%以上の実績を示しており、地域で急性期を担う病院として医療連携と機能分担を図りながら、平均在院日数の短縮化と病床利用率の向上・維持に努めている実状がうかがえる。

表 5- (5)



## 6 手術件数について (平成 15 年度実績)

### (1) 診療科別手術件数

#### 全体

最も手術件数が多い診療科は、「整形外科」で 10,540 件 (22.5%)、次いで「外科」が 9,941 件 (21.2%)、「眼科」が 5,546 件 (11.8%)、「産婦人科」が 3,853 件 (8.2%)、「泌尿器科」が 2,876 件 (6.1%) などとなっている。

全体の手術件数 46,834 件のうち、村山地域が 23,080 件 (49.3%) とほぼ半数を占めている。次いで、庄内地域が 12,912 件 (27.6%)、置賜地域が 8,987 件 (19.2%)、最上地域が 1,855 件 (4.0%) となっている。

#### 地域別

- ・ 村山地域：「外科」が最も多く 5,147 件 (22.3%)、次いで「整形外科」が 5,052 件 (21.9%)、「眼科」が 3,228 件 (14.0%)、「産婦人科」が 2,436 件 (10.6%) などとなっている。
- ・ 最上地域：「整形外科」が最も多く 734 件 (39.6%)、次いで「外科」が 562 件 (30.3%) とこの 2 診療科で地域全体の約 7 割 (69.9%) を占めている。
- ・ 置賜地域：「整形外科」が最も多く 2,064 件 (23.0%)、次いで「外科」が 1,669 件 (18.6%)、「眼科」が 1,168 件 (13.0%) などとなっている。
- ・ 庄内地域：「整形外科」が最も多く 2,690 件 (20.8%)、次いで「外科」が 2,563 件 (19.8%)、「眼科」が 1,048 件 (8.1%) などとなっている。

表6-(1)-1 診療科別手術件数（地域別）

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	回答施設数	20	割合	4	割合	7	割合	10	割合	41
内科	1,451	6.3%			58	0.6%	987	7.6%	2,496	
精神科	31	0.1%			19	0.2%	82	0.6%	132	0.3%
神経内科(神経科)	7	0.0%					24	0.2%	31	0.1%
呼吸器科					6	0.1%			6	0.0%
消化器科・胃腸科					456	5.1%	846	6.6%	1,302	2.8%
循環器科	50	0.2%			104	1.2%	83	0.6%	237	0.5%
小児科	47	0.2%			7	0.1%	9	0.1%	63	0.1%
外科	5,147	22.3%	562	30.3%	1,669	18.6%	2,563	19.8%	9,941	21.2%
整形外科	5,052	21.9%	734	39.6%	2,064	23.0%	2,690	20.8%	10,540	22.5%
形成外科	361	1.6%			698	7.8%	965	7.5%	2,024	4.3%
脳神経外科	889	3.9%	111	6.0%	307	3.4%	418	3.2%	1,725	3.7%
呼吸器外科	129	0.6%			63	0.7%	102	0.8%	294	0.6%
心臓血管外科	560	2.4%			269	3.0%	50	0.4%	879	1.9%
小児外科					24	0.3%	73	0.6%	97	0.2%
皮膚科	382	1.7%	12	0.6%	236	2.6%	414	3.2%	1,044	2.2%
泌尿器科	1,425	6.2%	145	7.8%	370	4.1%	936	7.2%	2,876	6.1%
産婦人科	2,436	10.6%	61	3.3%	868	9.7%	488	3.8%	3,853	8.2%
産科							246	1.9%	246	0.5%
婦人科							2	0.0%	2	0.0%
眼科	3,228	14.0%	102	5.5%	1,168	13.0%	1,048	8.1%	5,546	11.8%
耳鼻咽喉科	1,319	5.7%	128	6.9%	548	6.1%	794	6.1%	2,789	6.0%
リハビリテーション科	11	0.0%							11	0.0%
放射線科	2	0.0%					10	0.1%	12	0.0%
麻酔科	1	0.0%			7	0.1%	7	0.1%	15	0.0%
歯科口腔外科	518	2.2%			46	0.5%	46	0.4%	610	1.3%
歯科	34	0.1%					29	0.2%	63	0.1%
合計	23,080	100.0%	1,855	100.0%	8,987	100.0%	12,912	100.0%	46,834	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したものである。

医師一人当たり手術件数（地域別）

- ・ 内科：庄内地域が24.7件で最も多く、村山地域11.1件、置賜地域2.3件を大きく上回る。最上地域はゼロ件であった。
- ・ 外科：村山地域が67.7件と最も多いが、置賜地域が66.8件、庄内地域が59.6件、最上地域が56.2件と際立った差は見られなかった。
- ・ 整形外科：庄内地域が149.4件と最も多く、次いで置賜地域が121.4件、最上地域が104.9件、村山地域が95.3件で村山地域と庄内地域は約54件の差がある。



- ・ 脳神経外科：庄内地域が59.7件と最も多く、次いで最上地域が55.5件、置賜地域が43.9件、村山地域が30.7件であった。庄内地域と村山地域の差は29件にのぼる。
- ・ 皮膚科：庄内地域が138.0件と格段に多く、置賜地域が78.7件、村山地域が23.9件、最上地域が6.0件とかなりの地域差が見られる。
- ・ 泌尿器科：庄内地域が117.0件と最も多く、最上地域が72.5件、置賜地域が52.9件、村山地域が54.8件となっている。
- ・ 産婦人科：置賜地域が96.4件と最も多く、次いで村山地域が76.1件、最上地域が61.0件、庄内地域が48.8件で庄内地域は置賜地域の約半分となっている。
- ・ 眼科：庄内地域が174.7件と最も多く、次いで置賜地域が166.9件、村山地域が153.7件に対し、最上地域は51.0件と他地域の約3分の1となっている。
- ・ 耳鼻咽喉科：庄内地域が132.3件と最も多く、次いで置賜地域が91.3件、最上地域が64.0件、村山地域が62.8件となっている。

表6- (1) -2 医師一人当たり手術件数（地域別）

（単位：件）

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	診療科計
内科	11.1		2.3	24.7	11.3
精神科	2.2		2.1	20.5	4.9
神経内科(神経科)	0.4			8.0	1.2
呼吸器科			1.0		0.3
消化器科・胃腸科			30.4	60.4	29.6
循環器科	5.0		9.5	8.3	7.6
小児科	1.3		0.7	0.8	1.1
外科	67.7	56.2	66.8	59.6	64.6
整形外科	95.3	104.9	121.4	149.4	110.9
形成外科	90.3		698.0	241.3	224.9
脳神経外科	30.7	55.5	43.9	59.7	38.3
呼吸器外科	64.5			25.5	49.0
心臓血管外科	62.2		89.7	10.0	51.7
小児外科				73.0	48.5
皮膚科	23.9	6.0	78.7	138.0	43.5
泌尿器科	54.8	72.5	52.9	117.0	66.9
産婦人科	76.1	61.0	96.4	48.8	74.1
産科				82.0	82.0
婦人科				2.0	1.0
眼科	153.7	51.0	166.9	174.7	154.1
耳鼻咽喉科	62.8	64.0	91.3	132.3	79.7
リハビリテーション科	2.2				1.8
放射線科	0.1			2.5	0.4

麻酔科			1.2	0.7	0.3
歯科口腔外科	43.2		15.3	15.3	33.9
歯科	6.8			14.5	9.0
地域計	37.7	30.9	49.9	56.4	43.3

(2) 主な手術件数

表6-(2)-1 主な手術別件数(地域別)

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	19	割合	4	割合	6	割合	11	割合	40	割合
外科(体表)										
乳房(部分)切除術	295	1.2%	22	2.3%	60	1.2%	153	1.2%	530	1.2%
甲状腺(亜)全摘術 (頸部郭清術を含む)	110	0.4%	11	1.1%	12	0.2%	52	0.4%	185	0.4%
そけいおよび大腿ヘル ニア根治術	660	2.7%	66	6.9%	222	4.3%	315	2.4%	1,263	2.9%
痔根治術	143	0.6%	13	1.4%	37	0.7%	80	0.6%	273	0.6%
体表腫瘍切除	223	0.9%	2	0.2%	68	1.3%	446	3.5%	739	1.7%
その他の体表手術	207	0.8%	3	0.3%	71	1.4%	246	1.9%	527	1.2%
小計	1,638	6.7%	117	12.2%	470	9.1%	1,292	10.0%	3,517	8.1%
外科(開腹)										
胃(亜)全摘術	499	2.0%	79	8.3%	182	3.5%	281	2.2%	1,041	2.4%
食道亜全摘術	34	0.1%	12	1.3%	13	0.3%	23	0.2%	82	0.2%
腹腔鏡下胆石症手術	317	1.3%	39	4.1%	83	1.6%	141	1.1%	580	1.3%
開腹胆石症手術(総胆 管手術を含む)	192	0.8%	16	1.7%	33	0.6%	90	0.7%	331	0.8%
肝臓切除術	102	0.4%	12	1.3%	14	0.3%	18	0.1%	146	0.3%
膵臓、胆嚢胆管、十二 指腸の悪性腫瘍術 (膵臓部分切除を含 む)	97	0.4%	30	3.1%	18	0.3%	111	0.9%	256	0.6%
結腸切除術(腹腔鏡 下手術、Hartmann手 術を含む)	346	1.4%	40	4.2%	138	2.7%	235	1.8%	759	1.7%
低位前方切除術/マイ ルス手術	138	0.6%	21	2.2%	47	0.9%	83	0.6%	289	0.7%
癒着剥離/イレウス解 除術	113	0.5%	20	2.1%	27	0.5%	46	0.4%	206	0.5%
その他の腸切除術	175	0.7%			22	0.4%	53	0.4%	250	0.6%

虫垂切除術	325	1.3%	60	6.3%	91	1.8%	141	1.1%	617	1.4%
開腹術(試験、止血、ド レナージなど)	74	0.3%	14	1.5%	18	0.3%	53	0.4%	159	0.4%
胃腸瘻造設、人工肛 門閉鎖など	84	0.3%			18	0.3%	149	1.2%	251	0.6%
その他の開腹術	190	0.8%	2	0.2%	45	0.9%	99	0.8%	336	0.8%
小計	2,686	10.9%	345	36.1%	749	14.6%	1,523	11.8%	5,303	12.2%
外科(胸部)										
肺葉(部分)切除術(内 視鏡的手術および気 管支形成術)を含む	246	1.0%	61	6.4%	56	1.1%	121	0.9%	484	1.1%
その他の肺手術(肺縫 縮術、肺瘻閉鎖術など を含む)	18	0.1%	7	0.7%	25	0.5%	1	0.0%	51	0.1%
胸腺摘出術	18	0.1%					2	0.0%	20	0.0%
その他の縦隔摘出術	12	0.0%	3	0.3%	1	0.0%	5	0.0%	21	0.0%
その他の胸部手術	59	0.2%	6	0.6%	11	0.2%	39	0.3%	115	0.3%
小計	353	1.4%	77	8.0%	93	1.8%	168	1.3%	691	1.6%
心臓血管外科										
小児先天性奇形シャ ント手術	4	0.0%							4	0.0%
小児先天性奇形根治 術	27	0.1%							27	0.1%
CABG	65	0.3%			12	0.2%	2	0.0%	79	0.2%
CABG(off Pump)	4	0.0%			1	0.0%	31	0.2%	36	0.1%
弁疾患手術(MVR AVRなど)	70	0.3%			8	0.2%	88	0.7%	166	0.4%
伝導系手術、ペースメ ーカー挿入	230	0.9%	22	2.3%	2	0.0%	97	0.8%	351	0.8%
腹部動脈瘤手術	75	0.3%			21	0.4%	22	0.2%	118	0.3%
胸部動脈瘤手術	26	0.1%			1	0.0%	25	0.2%	52	0.1%
その他の動脈手術/ 血行再建術(AFバイ パスなど)	100	0.4%	2	0.2%	20	0.4%	109	0.8%	231	0.5%
静脈手術(ストリッピン グなど)	79	0.3%	7	0.7%	8	0.2%	52	0.4%	146	0.3%
その他の心臓血管手 術	264	1.1%	63	6.6%	34	0.7%	101	0.8%	462	1.1%
小計	944	3.8%	94	9.8%	107	2.1%	527	4.1%	1,672	3.8%

小児外科											
小児外科手術(そけいヘルニアを除く)	162	0.7%	24	2.5%	24	0.5%	24	0.2%	234	0.5%	
脳神経外科											
脳腫瘍摘出(意識下開頭術およびHardy手術を含む)	133	0.5%	6	0.6%	16	0.3%	23	0.2%	178	0.4%	
動脈瘤手術	168	0.7%	16	1.7%	72	1.4%	67	0.5%	323	0.7%	
シヤント術	86	0.4%	19	2.0%	22	0.4%	45	0.3%	172	0.4%	
微小血管再建減圧術	11	0.0%							11	0.0%	
血腫除去術	172	0.7%			54	1.0%	33	0.3%	259	0.6%	
その他の脳神経外科手術	260	1.1%	1	0.1%	14	0.3%	197	1.5%	472	1.1%	
小計	830	3.4%	42	4.4%	178	3.5%	365	2.8%	1,415	3.3%	
整形外科											
人工関節置換術	543	2.2%	25	2.6%	125	2.4%	166	1.3%	859	2.0%	
関節手術(関節鏡手術を含む)	556	2.3%	18	1.9%	76	1.5%	260	2.0%	910	2.1%	
四肢骨骨折に対する観血的骨接合術	954	3.9%	83	8.7%	502	9.8%	811	6.3%	2,350	5.4%	
脊椎手術	458	1.9%	1	0.1%	197	3.8%	317	2.5%	973	2.2%	
悪性腫瘍摘出術(脊髄腫瘍を除く)	57	0.2%	1	0.1%	8	0.2%	12	0.1%	78	0.2%	
血管、神経などのマイクローサージャリー	59	0.2%	8	0.8%	18	0.3%	40	0.3%	125	0.3%	
筋肉靭帯手術	181	0.7%	6	0.6%	44	0.9%	121	0.9%	352	0.8%	
四肢奇形修復術	28	0.1%							28	0.1%	
創外・内固定	111	0.5%			7	0.1%	71	0.6%	189	0.4%	
形成外科的手術(皮膚移植など)	230	0.9%	2	0.2%	13	0.3%	222	1.7%	467	1.1%	
その他の整形外科手術	1,356	5.5%	109	11.4%	462	9.0%	875	6.8%	2,802	6.4%	
小計	4,533	18.5%	253	26.4%	1,452	28.2%	2,895	22.5%	9,133	21.0%	
耳鼻咽喉科											
耳手術(鼓室形成術)	74	0.3%			11	0.2%	50	0.4%	135	0.3%	
鼻および副鼻腔手術、顔面骨手術(骨折整復を含む)	390	1.6%			41	0.8%	193	1.5%	624	1.4%	
扁桃およびアデノイド	239	1.0%			217	4.2%	130	1.0%	586	1.3%	

摘出術										
顕微鏡下喉頭手術	72	0.3%			17	0.3%	19	0.1%	108	0.2%
喉頭全摘術/頸部郭清術	29	0.1%			19	0.4%	2	0.0%	50	0.1%
その他の咽喉頭手術	50	0.2%			3	0.1%	130	1.0%	183	0.4%
だ液線手術	45	0.2%			4	0.1%	12	0.1%	61	0.1%
舌手術	20	0.1%			9	0.2%	12	0.1%	41	0.1%
切開およびドレナージ	82	0.3%			9	0.2%	8	0.1%	99	0.2%
その他の耳鼻科手術	205	0.8%			58	1.1%	247	1.9%	510	1.2%
小計	1,206	4.9%			388	7.5%	803	6.2%	2,397	5.5%
産婦人科										
腹式および腔式子宮全摘術（腹腔鏡下手術を含む）	422	1.7%	5	0.5%	69	1.3%	207	1.6%	703	1.6%
広汎子宮全摘術（腹腔鏡下手術を含む）	17	0.1%					25	0.2%	42	0.1%
その他の子宮手術	481	2.0%			3	0.1%	90	0.7%	574	1.3%
良性付属器手術	367	1.5%			30	0.6%	133	1.0%	530	1.2%
悪性付属器手術	37	0.2%					12	0.1%	49	0.1%
その他の婦人科手術	185	0.8%			15	0.3%	25	0.2%	225	0.5%
帝王切開術	578	2.4%			204	4.0%	149	1.2%	931	2.1%
子宮外妊娠手術（内視鏡下手術を含む）	37	0.2%			7	0.1%	15	0.1%	59	0.1%
その他の産科手術	801	3.3%			11	0.2%	44	0.3%	856	2.0%
小計	2,925	11.9%	5	0.5%	339	6.6%	700	5.4%	3,969	9.1%
泌尿器科										
腎尿管切石術（内視鏡下手術を含む）	62	0.3%			17	0.3%	23	0.2%	102	0.2%
腎臓手術	115	0.5%			11	0.2%	29	0.2%	155	0.4%
膀胱腫瘍切術（内視鏡下を除く）	64	0.3%			9	0.2%	40	0.3%	113	0.3%
前立腺手術（内視鏡下を除く）	181	0.7%			31	0.6%	67	0.5%	279	0.6%
TUR(TULなどの内視鏡下手術を含む）	352	1.4%			102	2.0%	130	1.0%	584	1.3%
睾丸および副睾丸手術	69	0.3%			12	0.2%	44	0.3%	125	0.3%
その他の泌尿器科手術	768	3.1%			64	1.2%	553	4.3%	1,385	3.2%

小計	1,611	6.0%			246	4.8%	886	6.9%	2,743	6.3%
眼科										
角膜結膜手術	50	0.2%			54	1.0%	19	0.1%	123	0.3%
白内障手術	1,372	5.6%			713	13.9%	828	6.4%	2,913	6.7%
硝子体手術	305	1.2%			14	0.3%	33	0.3%	352	0.8%
網膜手術	137	0.6%			83	1.6%	82	0.6%	302	0.7%
外傷および異物に対する手術	15	0.1%			5	0.1%	25	0.2%	45	0.1%
その他の眼科手術	1,338	5.4%			114	2.2%	61	0.5%	1,513	3.5%
小計	3,217	13.1%			983	19.1%	1,048	8.1%	5,248	12.1%
その他の手術										
皮膚科手術	375	1.5%			16	0.3%	143	1.1%	534	1.2%
内科手術	1,708	7.0%			55	1.1%	1,801	14.0%	3,564	8.2%
小児科手術	52	0.2%			24	0.5%	6	0.0%	82	0.2%
精神科電撃療法	15	0.1%			15	0.3%	82	0.6%	112	0.3%
その他の手術	2,312	9.4%			5	0.1%	605	4.7%	2,922	6.7%
小計	4,462	18.2%			115	2.2%	2,637	20.5%	7,214	16.6%
合計	24,567	100.0%	957	100.0%	5,144	100.0%	12,868	100.0%	43,536	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したものの。

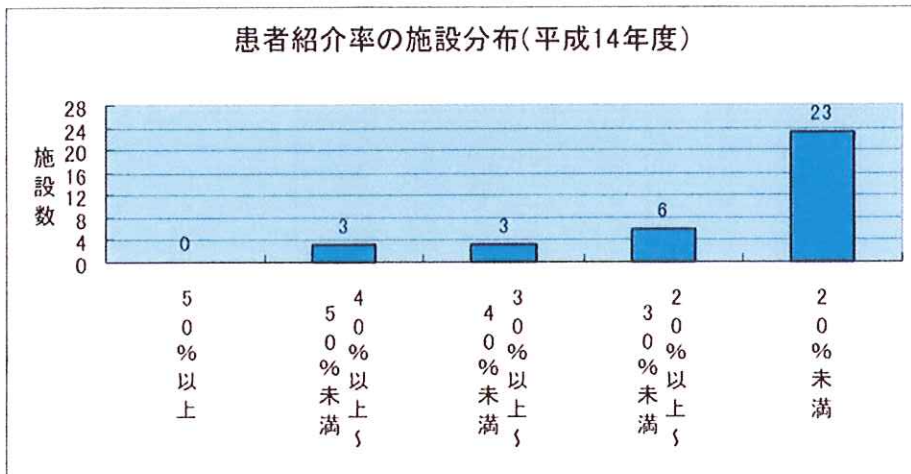
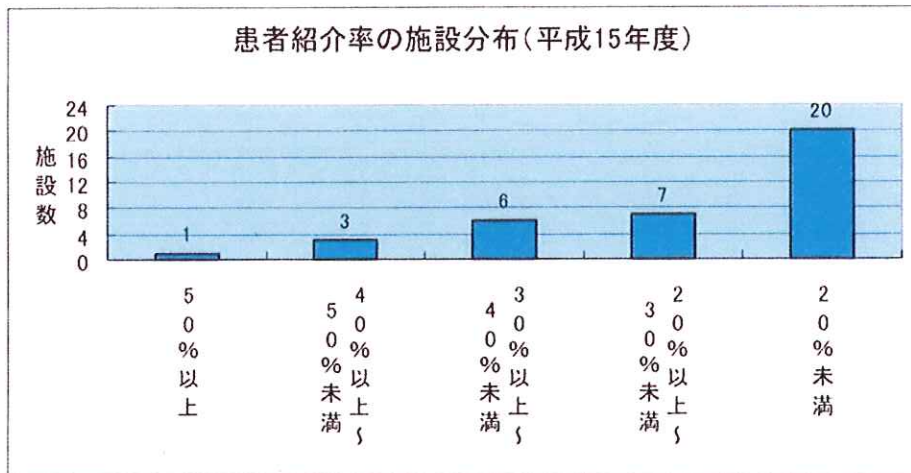
## 7 患者紹介率について

### (1) 患者紹介率

当該項目に記入のあった37医療施設の平成15年度患者紹介率を見ると、最も高い施設は51.1%、最も低い施設は0.8%であった。

紹介率水準ごとの施設分布数を見ると、「50%以上」が1施設(2.7%)、「40%以上～50%未満」が3施設(8.1%)、「30%以上～40%未満」が6施設(16.2%)、「20%以上～30%未満」が7施設(18.9%)、「20%未満」が20施設(54.1%)で、「20%未満」が半数以上を占め最も多かった。

表7- (1)

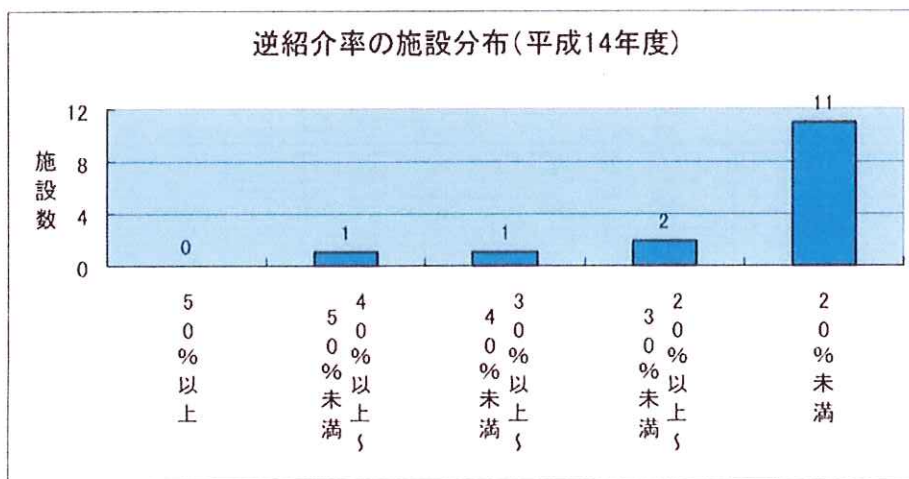
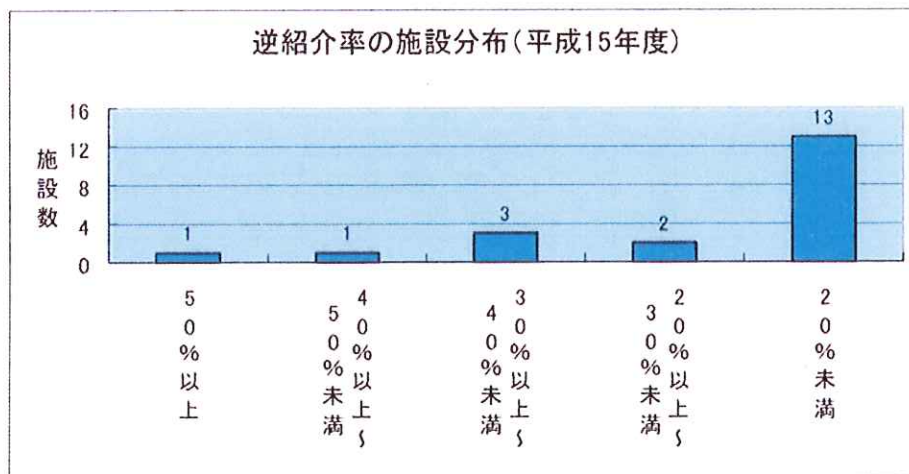


(2) 逆紹介率

当該項目に記入のあった20医療施設の平成15年度における逆紹介率について、最も高い施設は51.4%、最も低い施設は1.8%であった。

逆紹介率水準ごとの施設分布数を見ると、「50%以上」が1施設(5.0%)、「40%以上~50%未満」が1施設(5.0%)、「30%以上~40%未満」が3施設(15.0%)、「20%以上~30%未満」が2施設(10.0%)、「20%未満」が13施設(65.0%)と「20%未満」が最も多かった。

表 7- (2)



## 8 施設基準について

### 全体

施設基準の届出を行っている割合の高い順に、「一般病棟入院基本料」が 38 施設 (84.4%)、次いで「紹介患者加算 6 (紹介率 20%未満)」が 18 施設 (40.0%)、「診療録管理体制加算」が 16 施設 (35.6%)、「紹介患者加算 4 (紹介率 30%以上)」が 11 施設 (24.4%)、「療養病棟入院基本料」が 10 施設 (22.2%)、「急性期入院加算」及び「特定集中治療室管理料」がともに 6 施設 (13.3%) などとなっている。急性期病院であることを示す「急性期入院加算」の要件である「診療録管理体制加算」及び「紹介患者加算 4」をクリアすることが必要であることから当該要件の届出割合が高くなっているものと考えられる。

一方、「急性期特定入院加算」、「ハイケアユニット入院医療管理料 (平成 16 年改定時新設)」などの施設基準については該当施設がなかった。

### 地域別

・ 村山地域：「一般病棟入院基本料」が 16 施設 (76.2%) と最も多く、次いで「診療



録管理体制加算」及び「紹介患者加算6」がともに8施設(38.1%)、「急性期入院加算」及び「紹介患者加算4」がともに4施設(19.0%)などとなっている。

- ・ 最上地域：「一般病棟入院基本料」が4施設(100.0%)すべてで届出しており、他は「療養病棟入院基本料」、「診療録管理体制加算」、「特定集中治療室管理料」及び「紹介患者加算4」がともに1施設(25.0%)となっている。
- ・ 置賜地域：「一般病棟入院基本料」が8施設(88.9%)と最も多く、次いで「紹介患者加算6」が4施設(44.4%)、「精神病棟入院基本料」及び「紹介患者加算4」がともに3施設(33.3%)などとなっている。
- ・ 庄内地域：「一般病棟入院基本料」が10施設(90.9%)と最も多く、次いで「紹介患者加算6」が6施設(54.5%)、「診療録管理体制加算」が5施設(45.5%)、「紹介患者加算4」が3施設(27.3%)などとなっている。

表8 施設基準の状況(地域別)

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	21	比率	4	比率	9	比率	11	比率	45	比率
一般病棟入院基本料	16	76.2%	4	100.0%	8	88.9%	10	90.9%	38	84.4%
療養病棟入院基本料	5	23.8%	1	25.0%			4	36.4%	10	22.2%
精神病棟入院基本料					3	33.3%			3	6.7%
特定機能病院入院基本料	1	4.8%							1	2.2%
結核病院入院基本料	1	4.8%							1	2.2%
障害者施設等入院基本料	1	4.8%							1	2.2%
急性期入院加算	4	19.0%			1	11.1%	1	9.1%	6	13.3%
急性期特定入院加算										
臨床研修病院入院診療加算	3	14.3%					2	18.2%	5	11.1%
診療録管理体制加算	8	38.1%	1	25.0%	2	22.2%	5	45.5%	16	35.6%
地域医療支援病院入院診療加算	1	4.8%							1	2.2%
救命救急入院料	1	4.8%			1	11.1%			2	4.4%
ハイケアユニット入院医療管理料										
亜急性期入院医療管理料	2	9.5%			1	11.1%	2	18.2%	5	11.1%
特定集中治療室管理料	2	9.5%	1	25.0%	2	22.2%	1	9.1%	6	13.3%
新生児特定集中治療室管理料	2	9.5%							2	4.4%
回復期リハビリテーション病棟入院料	2	9.5%							2	4.4%
精神科救急入院料										
精神科急性期治療病棟入院料										
紹介患者加算1	1	4.8%							1	2.2%
紹介患者加算2	1	4.8%							1	2.2%
紹介患者加算3	1	4.8%							1	2.2%
紹介患者加算4	4	19.0%	1	25.0%	3	33.3%	3	27.3%	11	24.4%
紹介患者加算5	3	14.3%			1	11.1%	1	9.1%	5	11.1%

紹介患者加算6	8	38.1%		4	44.4%	6	54.5%	18	40.0%
---------	---	-------	--	---	-------	---	-------	----	-------

(注)「比率」は各項目の施設数を全回答施設数にて除したもの。

## 9 医療機器の設置状況及び稼働実績

### (1) 医療機器の設置状況

#### 全体

導入率（医療施設数に対する導入済施設数の割合）の高い医療機器を見ると、「上部消化管ファイバースコープ」が最も高く43施設中41施設が導入済で導入率95.3%、次いで「エコー（腹部エコー、心エコーを含む。以下同じ。）」「血液ガス測定装置」「大腸ファイバースコープ」がそれぞれ93.0%、「CT（全身用X線CT、頭部（頭頸部）用X線CT、シングルフォトエミッションCT（SPECT）、ヘリカル（スパイラル）CTを含む。以下同じ。）」が90.7%と導入率9割以上に達している。導入率80%台は、「心エコー」が86.0%、「人工呼吸器」が81.4%。同70%台は、「腹部エコー」が79.1%、「心細動除去装置」が76.7%、「気管支ファイバースコープ」が74.4%、「生化学自動分析装置（12チャンネル以上）」が72.1%。同60%台は、「乳房X線撮影システム（マンモグラフィー）」が69.8%、「ヘリカル（スパイラル）CT」「骨塩定量測定装置」がともに67.4%、「トレッドミル」が62.8%。5割以上の導入率では、「人工透析装置」が53.5%、「脳波計」「磁気共鳴診断装置（MRI）」がともに51.2%となっている。

一方、導入率の低い医療機器としては、「脳磁波計」「頭部（頭頸部）用X線CT」がゼロ、「ポジトロンエミッション（PET）」「ハイパーサーミア装置」がそれぞれ1医療施設（2.3%）、「ガンマナイフ」「脳血管撮影装置」がともに2施設（4.7%）、「アフターローディング」が3施設（7.0%）などとなっている。

#### 地域別設置状況

- ・ 村山地域：回答のあった19施設すべてに導入されている医療機器はなかったが、「上部消化管ファイバースコープ」「大腸ファイバースコープ」がともに18施設（94.7%）と最も多く、次いで「エコー」「血液ガス分析装置」「CT」がそれぞれ17施設（89.5%）、「心エコー」「人工呼吸器」「心細動除去装置」「気管支ファイバースコープ」がそれぞれ16施設（84.2%）と8割以上の導入率となっている。他地域では導入されておらず、村山地域にのみ導入されている機器は、「PET」「ハイパーサーミア装置」の2機器であった。
- ・ 最上地域：回答のあった地域内4施設すべてに導入されている医療機器は、「上部消化管ファイバースコープ」「大腸ファイバースコープ」「心エコー」「腹部エコー」「血液ガス測定装置」「ヘリカルCT」「骨塩定量測定装置」であった。一方、他3地域では導入されているが最上地域にのみ導入されていない機器は、「心臓及び腹部血管撮影装置」「血管内超音波検査装置（ドップラー）」「新生児専用呼吸循環監視装置」「体外衝撃波尿路結石破碎装置」「人工心肺装置」など11機器であった。
- ・ 置賜地域：回答のあった地域内9施設すべてに導入されている医療機器は、「上部消化管ファイバースコープ」「大腸ファイバースコープ」「心エコー」「ヘリカルCT」であった。一方、他3地域では導入されているが置賜地域にのみ導入されていない

機器は、「高圧酸素タンク」の1機器のみであった。

庄内地域: 回答のあった11施設すべてに導入されている医療機器はなかったが、「上部消化管ファイバースコープ」「エコー」「血液ガス測定装置」がともに10施設(90.9%)と最も多く、次いで「大腸ファイバースコープ」「CT」がともに9施設(81.8%)などとなっている。一方、他3地域では導入されているが庄内地域にのみ導入されていない機器は、「筋肉増強装置(サイベックス)」の1機器のみであった。

表9-(1)-1 主な医療機器の導入台数(地域別)

	村山 地域	最上 地域	置賜 地域	庄内 地域	合計
回答施設数	19	4	9	11	43
リニアック	4	1	1	3	9
ガンマナイフ	1			1	2
アフターローディング	2			1	3
人工心肺装置	6		2	4	12
心臓カテーテル	5	1	2	3	11
心細動除去装置	76	8	39	32	155
長時間心電図分析装置	32	7	29	10	78
高圧酸素タンク	2	1		2	5
デジタル減算血管撮影法(DSA)	5		3		8
血管撮影装置	12		5	6	23
心臓血管撮影装置	5		2	3	10
腹部血管撮影装置	6		1	3	10
脳血管撮影装置	1		2		3
エコー	94	9	40	42	185
心エコー	45	4	11	12	72
腹部エコー	49	5	29	30	113
血管内超音波検査装置(ドップラー)	6		8	6	20
血液ガス測定装置	29	5	16	19	69
トレッドミル	18	4	7	7	36
手術用顕微鏡システム	27	7	10	13	57
脳波計	19	2	8	11	40
脳磁波計					
新生児専用呼吸循環監視装置	48		3	24	75
新生児人工呼吸器	30	1	5	15	51
新生児聴覚スクリーニング検査装置	1		1	2	4
分娩監視装置	49	2	19	30	100
体外受精・顕微授精システム	4		1	2	7

人工透析装置	202	17	90	181	490
血漿交換装置	6	1	3	2	12
体外衝撃波尿路結石粉碎装置	6		1	2	9
人工呼吸器	146	9	55	110	320
上部消化管ファイバースコープ	86	11	65	59	221
気管支ファイバースコープ	57	4	31	17	109
大腸ファイバースコープ	66	9	32	35	142
尿路ファイバースコープ	11	1	7	8	27
乳房X線撮影システム(マンモグラフィー)	12	3	7	8	30
循環器系X線診断装置	5	1	2	3	11
磁気共鳴診断装置(MRI)	16	1	5	7	29
CT	29	6	11	14	60
全身用X線CT	11	2	5	2	20
頭部(頭頸部)用X線CT					
シングルフォトエミッションCT(SPECT)	6			1	7
ヘリカル(スパイラル)CT	12	4	6	11	33
RI診断装置(シンチレーションカメラ等)	7	1	3	4	15
ポジトロンエミッション(PET)	2				2
コンピューテッドラジオグラフィ装置	11	2	11	19	43
骨塩量測定装置	12	4	5	8	29
マイクロサージャリー装置	2		1	2	5
IABP駆動装置	9	1	5	6	21
ハイパーサーミア装置	1				1
低体温療法装置	9		7	3	19
生化学自動分析装置(12チャンネル以上)	23	8	11	9	51
光凝固装置	11	3	8	1	23
レーザーメス	15	2	6	12	35
筋肉増強装置(サイベックス)	4	1	3		8

表9- (1) -2 主な医療機器の導入率(地域別)

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	導入施設数	導入率	導入施設数	導入率	導入施設数	導入率	導入施設数	導入率	導入施設数	導入率
リニアック	3	15.8%	1	25.0%	1	11.1%	3	27.3%	8	18.6%
ガンマナイフ	1	5.3%					1	9.1%	2	4.7%
アフターローディング	2	10.5%					1	9.1%	3	7.0%
人工心肺装置	3	15.8%			2	22.2%	4	36.4%	9	20.9%
心臓カテーテル	5	26.3%	1	25.0%	2	22.2%	3	27.3%	11	25.6%

心細動除去装置	16	84.2%	2	50.0%	8	88.9%	7	63.6%	33	76.7%
長時間心電図分析装置	9	47.4%	2	50.0%	4	44.4%	4	36.4%	19	44.2%
高圧酸素タンク	2	10.5%	1	25.0%			2	18.2%	5	11.6%
デジタル減算血管撮影法(DSA)	4	21.1%			3	33.3%			7	16.3%
血管撮影装置	7	36.8%			2	22.2%	4	36.4%	13	30.2%
心臓血管撮影装置	5	26.3%			2	22.2%	3	27.3%	10	23.3%
腹部血管撮影装置	6	31.6%			1	11.1%	3	27.3%	10	23.3%
脳血管撮影装置	1	5.3%			1	11.1%			2	4.7%
エコー	17	89.5%	4	100.0%	9	100.0%	10	90.9%	40	93.0%
心エコー	16	84.2%	4	100.0%	9	100.0%	8	72.7%	37	86.0%
腹部エコー	14	73.7%	4	100.0%	8	88.9%	8	72.7%	34	79.1%
血管内超音波検査装置(ドップラー)	6	31.6%			4	44.4%	2	18.2%	12	27.9%
血液ガス測定装置	17	89.5%	4	100.0%	9	100.0%	10	90.9%	40	93.0%
トレッドミル	12	63.2%	3	75.0%	6	66.7%	6	54.5%	27	62.8%
手術用顕微鏡システム	9	47.4%	2	50.0%	4	44.4%	5	45.5%	20	46.5%
脳波計	10	52.6%	1	25.0%	6	66.7%	5	45.5%	22	51.2%
脳磁波計										
新生児専用呼吸循環監視装置	6	31.6%			1	11.1%	4	36.4%	11	25.6%
新生児人工呼吸器	8	42.1%	1	25.0%	3	33.3%	5	45.5%	17	39.5%
新生児聴覚スクリーニング検査装置	1	5.3%			1	11.1%	2	18.2%	4	9.3%
分娩監視装置	8	42.1%	1	25.0%	5	55.6%	6	54.5%	20	46.5%
体外受精・顕微授精システム	4	21.1%			1	11.1%	2	18.2%	7	16.3%
人工透析装置	10	52.6%	1	25.0%	6	66.7%	6	54.5%	23	53.5%
血漿交換装置	5	26.3%	1	25.0%	2	22.2%	1	9.1%	9	20.9%
体外衝撃波尿路結石粉碎装置	4	21.1%			1	11.1%	2	18.2%	7	16.3%
人工呼吸器	16	84.2%	3	75.0%	8	88.9%	8	72.7%	35	81.4%
上部消化管ファイバースコープ	18	94.7%	4	100.0%	9	100.0%	10	90.9%	41	95.3%
気管支ファイバースコープ	16	84.2%	3	75.0%	6	66.7%	7	63.6%	32	74.4%
大腸ファイバースコープ	18	94.7%	4	100.0%	9	100.0%	9	81.8%	40	93.0%
尿路ファイバースコープ	5	26.3%	1	25.0%	4	44.4%	4	36.4%	14	32.6%
乳房X線撮影システム(マンモグラフィ)	12	63.2%	3	75.0%	7	77.8%	8	72.7%	30	69.8%
循環器系X線診断装置	3	15.8%	1	25.0%	2	22.2%	3	27.3%	9	20.9%
磁気共鳴診断装置(MRI)	10	52.6%	1	25.0%	5	55.6%	6	54.5%	22	51.2%
CT	17	89.5%	4	100.0%	9	100.0%	9	81.8%	39	90.7%
全身用X線CT	7	36.8%	1	25.0%	5	55.6%	2	18.2%	15	34.9%
頭部(頭頸部)用X線CT										
シングルフォトエミッションCT(SP ECT)	4	21.1%					1	9.1%	5	11.6%
ヘリカル(スパイラル)CT	11	57.9%	4	100.0%	6	66.7%	8	72.7%	29	67.4%

RI診断装置(シンチレーションカメラ等)	6	31.6%	1	25.0%	2	22.2%	3	27.3%	12	27.9%
ポジトロンエミッション(PET)	1	5.3%							1	2.3%
コンピューテッドラジオグラフィ装置	7	36.8%	2	50.0%	3	33.3%	5	45.5%	17	39.5%
骨塩量測定装置	12	63.2%	4	100.0%	5	55.6%	8	72.7%	29	67.4%
マイクロサージャリー装置	2	10.5%			1	11.1%	2	18.2%	5	11.6%
IABP駆動装置	5	26.3%	1	25.0%	3	33.3%	4	36.4%	13	30.2%
ハイパーサーミア装置	1	5.3%							1	2.3%
低体温療法装置	3	15.8%			2	22.2%	1	9.1%	6	14.0%
生化学自動分析装置(12チャンネル以上)	15	78.9%	3	75.0%	8	88.9%	5	45.5%	31	72.1%
光凝固装置	6	31.6%	1	25.0%	5	55.6%	1	9.1%	13	30.2%
レーザーメス	5	26.3%	2	50.0%	3	33.3%	2	18.2%	12	27.9%
筋肉増強装置(サイベックス)	4	21.1%	1	25.0%	3	33.3%			8	18.6%